

第3期宮前区区民会議 第4回全体会

～みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう～

日時：平成23年2月10日(木)18:00～20:00

場所：宮前区役所 4階大会議室

次 第

1 開会

2 報告

- (1) 第3期実行計画案 宮前区区計画
- (2) 第2期区民会議提案事業の進捗状況

3 議事

- (1) 専門部会からの報告
- (2) 意見交換
- (3) 企画部会からの報告
 - ・区民会議フォーラム
 - ・中間報告

4 その他

- ・区民会議交流会（自治推進フォーラム分科会）

【配布資料】

別紙1 座席表

別紙2 第3期宮前区区民会議 名簿

別紙3 フリーメソ

資料1 コミュニティづくりのイメージ

資料2 第3回全体会までの議論まとめ

資料3 予算要求を見据えた専門部会の流れ

資料4 住民意識の変化のプロセス～どうすれば変わる？住民意識～

資料5 活力づくり部会 検討経過

資料6 地参知笑部会 検討経過

資料7 区民会議フォーラム（案）

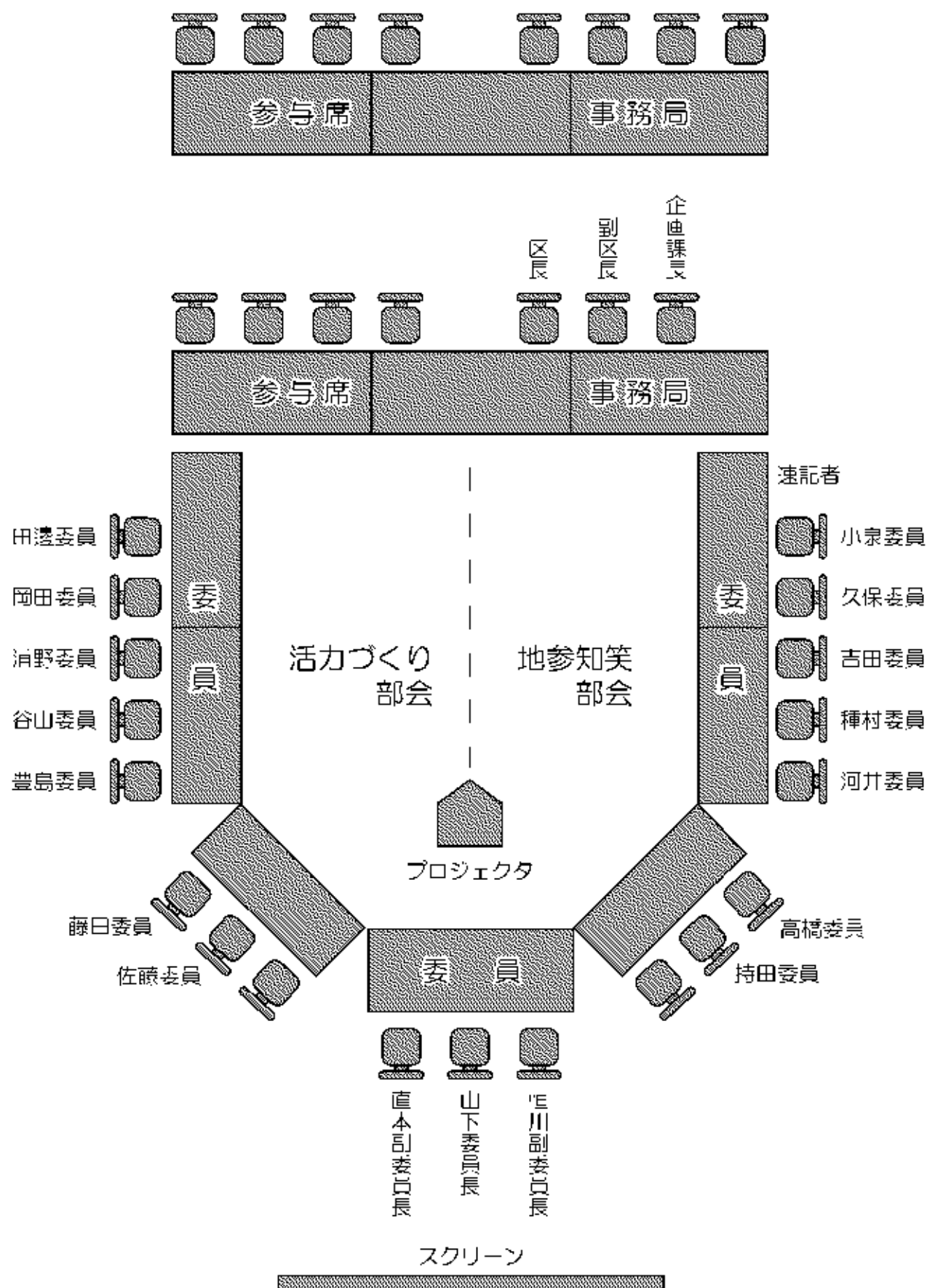
資料8 中間報告構成（案）

参考1 第3期実行計画 宮前区 区計画案

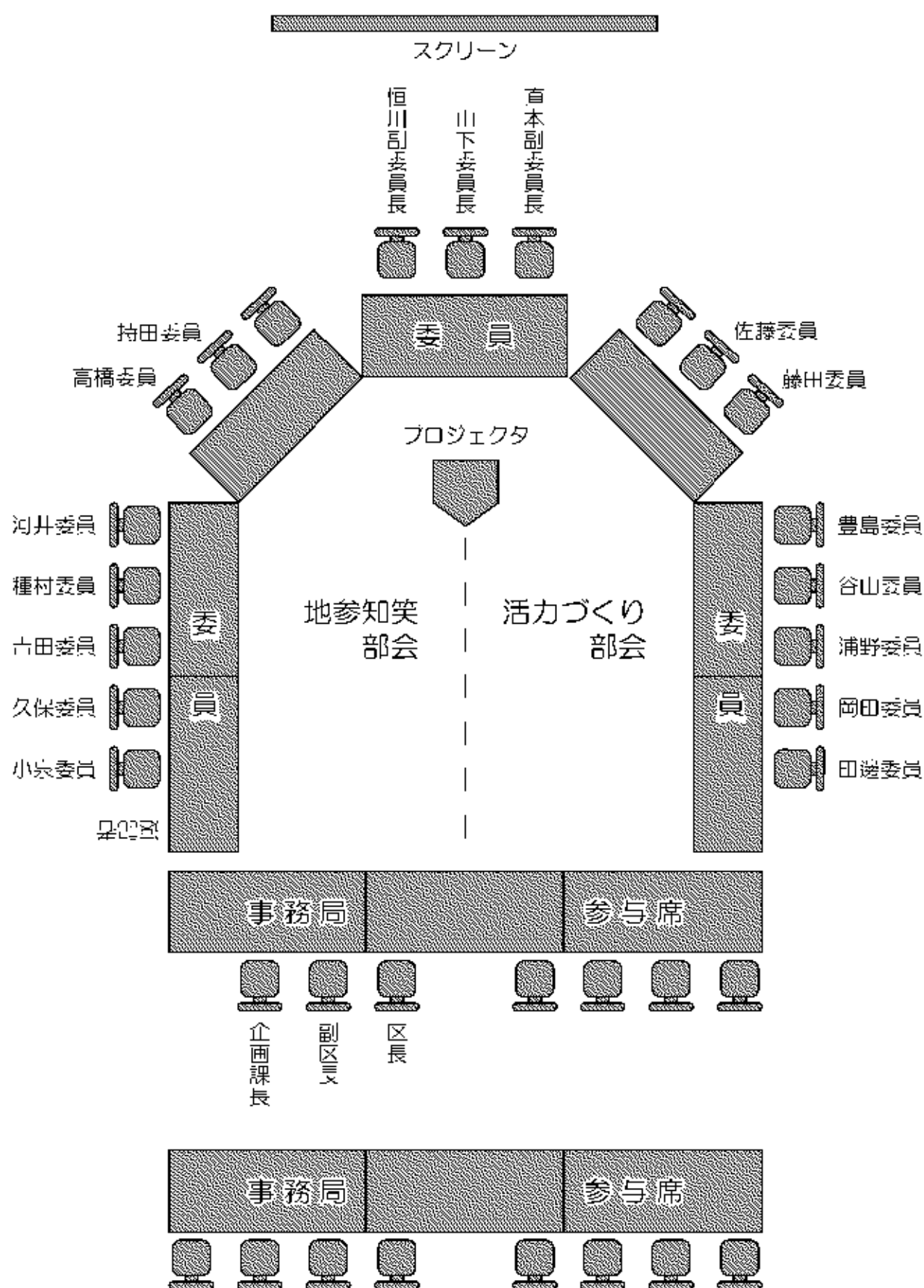
参考2 宮前区冒険あそび場支援検討委員会 検討資料

参考3 みやまえカルタ制作実行委員会 検討資料

第3期宮前区区民会議 第4回全体会 座席表



第3期宮前区区民会議 第4回全体会 座席表



第3期宮前区区民会議 名簿

No.	部会			氏名	選出区分	分野	団体名等
	企画	推進	協力				
1		○		平井 貴子	団体推薦	①防災・地域交通	宮前区安全・安心まちづくり推進協議会
2			○	田邊 保昭	団体推薦	②福祉・健康	宮前区社会福祉協議会
3		○		吉田 亨太郎	団体推薦		宮前区老人クラブ連合会
4		○		久保 清子	団体推薦	③子育て・教育	宮前区子ども・子育てネットワーク会議
5			○	豊島 このみ	団体推薦		宮前区民生委員・児童委員協議会
6	○	◎		持田 正美	団体推薦		宮前区地域教育会議
7		○		河井 明子	団体推薦	④自然・生活環境	グリーンフォーラム21 みやまえ世話人会
8			○	谷山 安治	団体推薦	⑤産業・まちの活力	宮前区商店街連合会
9		○		中村 富美和	団体推薦	⑥文化・観光	宮前区文化協会
10		○		植村 恒夫	団体推薦	⑦地域組織・まちづくり	宮前区全町内・自治会連合会（向丘地区）
11			○	手塚 百合子	団体推薦		宮前区全町内・自治会連合会（宮前地区）
12			○	浦野 珠里	団体推薦	⑧地域特性	フロンタウンさぎぬま
13			○	岡田 亮介	団体推薦		宮前区地域ポータルサイト 「みやまえぼーたろう」
14			○	藤田 信吾	団体推薦		宮前区まちづくり協議会
15		○		高橋 弘幸	公 募		
16	◎	○	○	★山下 浩	公 募		
17		○		永原 博司	区長推薦		川崎市農業青年協議会（小泉農園）
18	○		◎	佐藤 利枝	区長推薦		第2期区民会議 公園・地域づくり部会長
19	○	○		☆植川 康夫	区長推薦		第2期区民会議 宮前区の宝さがし部会
20	○		○	☆置本 孝子	区長推薦		神奈川県保護司会連合会事務局長

★……委員長 ☆……副委員長

◎……部会長 ○……部会メンバー

【参与】

市議会議員

浅野 文直	織田 勝久
飯田 満	佐々木 由美子
石川 建二	平子 瀧夫
石田 康博	矢沢 博孝
太田 公子	山田 晴彦

県議会議員

持田 文男

フリーメモ

「宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくり」イメージ

現状 「宮前区」と離れた生活

- 都心直結、典型的な近郊住宅地
- ◆東京と横浜という情報発信地に挟まれている
 - ◆コアとなるターミナル駅や産業集積地がない
 - ◆転入出など人の入れ替わりが激しく、核家族や単身世帯が増え、地縁・血縁が薄れている
 - ◆昼夜間人口比率が約70%と市内で最も低く、寝るために帰るだけの場所になっている

生活するうえで地域社会と接する機会が
少ないため、「宮前区」を知らない

STEP 1 地域と接点を持ち、参加する

- ◆外から入ってきた人たちが
地域に馴染めるようにしたい
 - ◆近所で顔の見える関係を築きたい
 - ◆あいさつが交わし合える
良好なコミュニケーション
 - ◆「お互いさま」という支えあいの精神
 - ◆地域の行事やイベントなどに、義務感ではなく、自然と参加する雰囲気がある
- 地域への愛着と帰属意識をつくるため、
「宮前区」を意識する機会を多くする

STEP 2 関わりを段階的に深める

- 地域との関わりを段階的に深め、
さまざまな地域活動への参加につなげる
- ・市民活動団体（テーマ別活動）
 - ・町内会・自治会（地域別活動）
 - ・ボランティア活動
 - ・趣味の団体
 - ・商店街や都市農業など区内の産業
- 活動への参加を促進し、取組を通じて、
住民の連帯感や団体の連携につなげる

宮前区に住んでいても、 地域社会と接点を持っていない人たち

- A きっかけさえあれば、すぐにでも地域に参加する層
- B 自ら積極的に参加するわけではないが、
地域社会に対するアレルギーがない層
- C 地域社会に見向きもしない、関わりたくない層 etc...

引き込む

地域社会と接点を持つ

①興味を引く = コミュニティづくりの入口！

②参加し、楽しんでもらう

地域に関心を持ち、愛着が湧く

地域で役割を担う

地域社会を支える

③人材を見出し、拾い上げる

④担い手となる

⑤地域のコアになる

地域社会との関わり

当面の目標

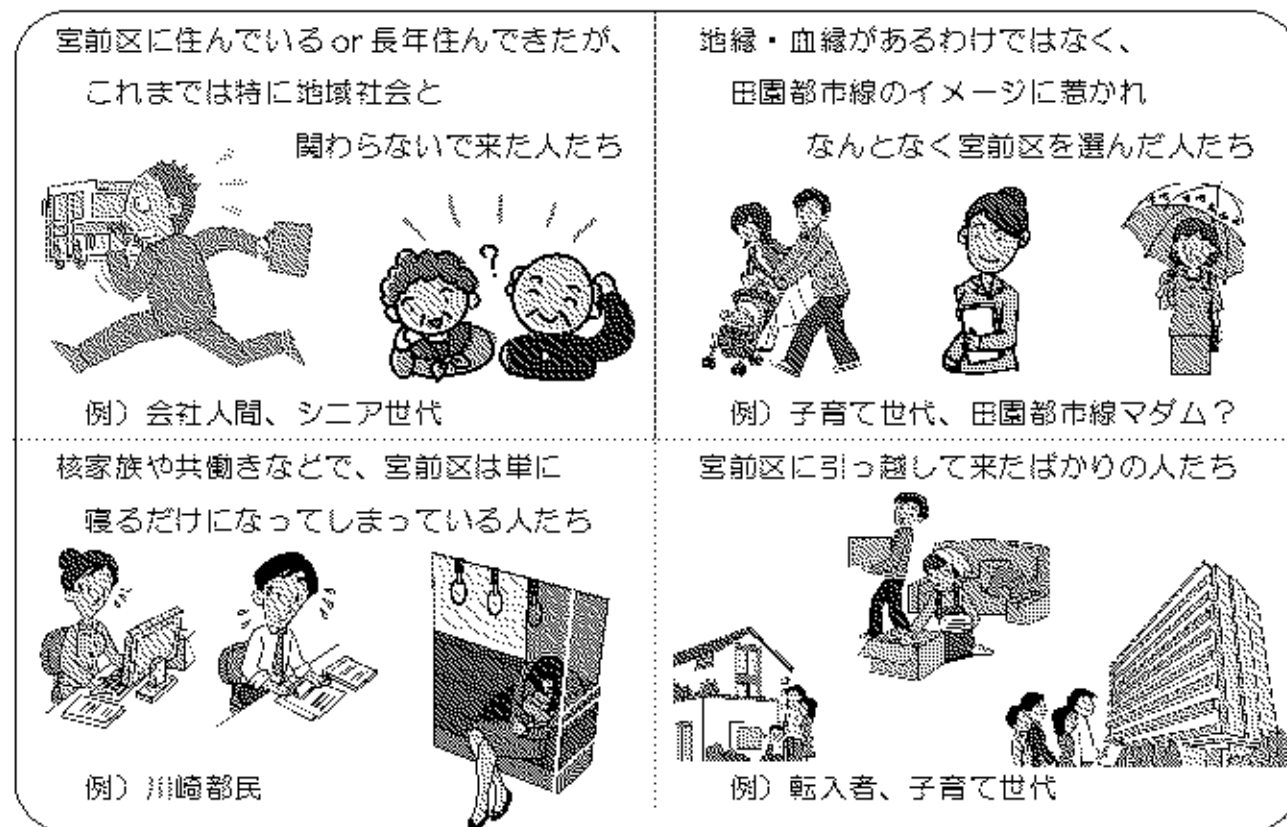
宮前区の基礎力アップ！地域社会の土壌づくりをしよう！

- ・区民が「宮前区」を意識する機会を多くし、地元への愛着や帰属意識をつくる
- ・地域社会と接点を持ち、地域社会に参加する人たちを増やす

ターゲット

今は宮前区と離れた生活をしていても、地域に参加する素養がある層

- ・きっかけさえあれば、すぐにでも地域社会に参加する層
- ・自ら積極的に自ら参加するわけではないが、地域社会に対してアレルギーがない層



アプローチ

まずは「宮前区」に対してポジティブな気持ちを持ってもらおう

- ・区民のうち、ターゲットとなる層は、宮前区や地域社会に対して「見向きもしない」のではなく、「気が付いていない」だけなので、「宮前区」というまちや地域社会に対し、「楽しそう」「面白そう」「好奇心が湧く」「共感できる」といったポジティブな感情を起こすことで、興味を持ってもらおう

打ち出し方

「生活の楽しみ方」や「まちとの付き合い方」をプロデュース

「宮前区での生活の楽しみ方」、「このまちとの上手な付き合い方」などを打ち出し、まずは宮前区の「まち」に興味を持ってもらい、それを支えている「人」と交流することで、無理なく自然と地域社会に入ってきてもらおう！

◆宮前区での生活の楽しみ方

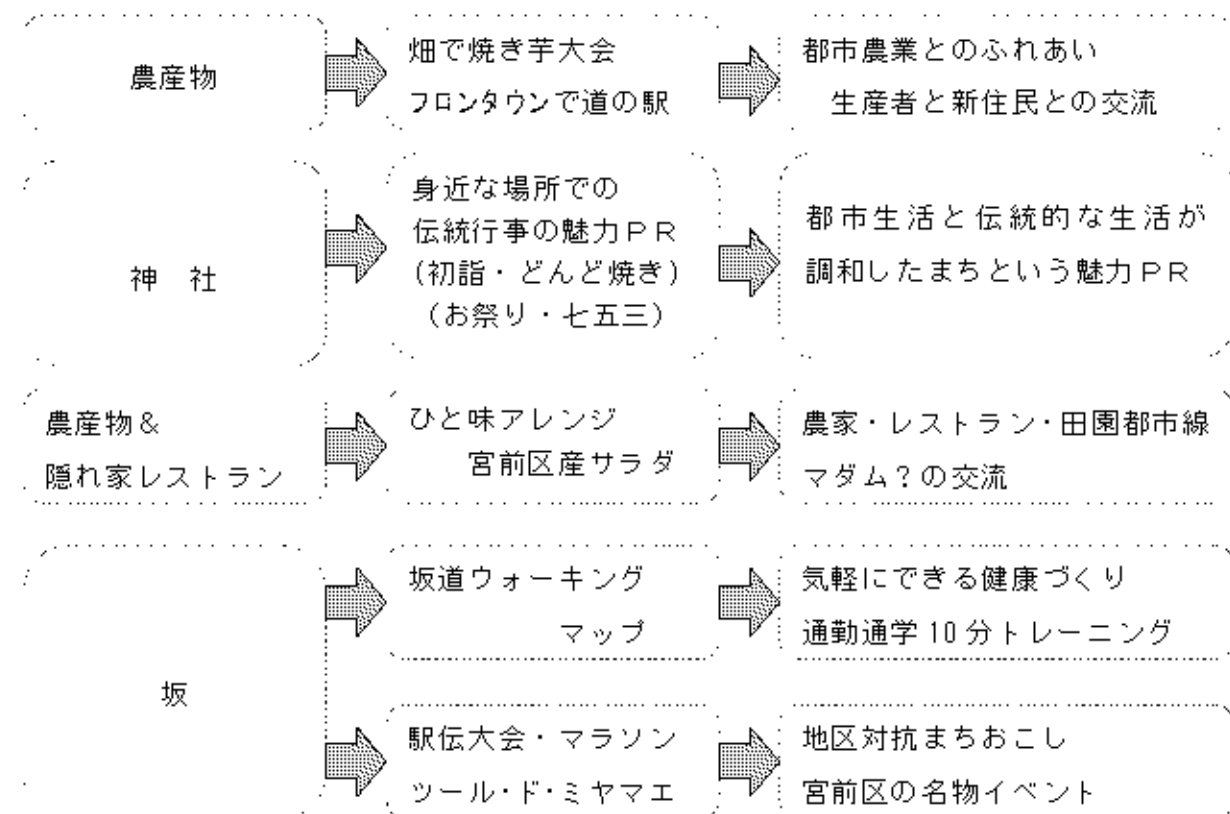
せっかく宮前区に住んでいるなら、宮前区や近所のコトをほとんど知らないまま毎日過ごすよりも、少しずつでも宮前区のことについて知ったり近所の人たちと交流したりすれば、もっと生活が充実するよ！

◆このまちとの上手な付き合い方

宮前区に家を建てたりして、これからこの場所で暮らしていくなら、「坂が多い」とか「高齢になったら大変だ」とか嘆くんじゃなくて、「高齢者になった時に困らないように、坂を健康づくりに活かす」など、このまちと上手に付き合っていく方法を身に付けよう！

今後の検討

これを題材に、こんな仕掛けづくりをしたら、こういうコミュニティづくりに繋がるんじゃないかという仕組みを各部会で考えていく。例えば…



予算要求を見据えた専門部会の流れ

平成22年度

平成23年度

平成24年度予算要求

11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

区長への提案						資料 3				
進行	第3回全体会	議論の軸を見出す	第4回全体会	方向性と骨組みをつくる	第5回全体会	肉付けをする	第6回全体会	提案をまとめる	第7回全体会	微調整
活力づくり部会		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
地参知笑部会		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
項目		・コミュニティづくりにつなげるようアイデアを出し合う ・他地域の状況や先進事例をリサーチ ・アイデアの中から検討すべき内容、議論の軸を見出す	ある程度アイデアをまとめる	議論の軸となる項目を中心に検討し、議論を深める ・先進事例や参考事例の調査や検証を行う ・来夏の予算要求時期を見据え、第3期提案の基本的な方針をまとめる	基本方針をまとめる ・基本方針をもとに、具体的な内容の検討（予算を必要とするものを中心に） ・区内での実施可能性の調査と検証 ・予算を必要とするものについては内容を確認	肉付けをする ・予算を必要としないものを中心に検討 ・区長への提案に向けて各部会の提案を詰める	予算要求に向けた内容を詰める	提案内容を決める		文書等の最終調整

住民意識の変化のプロセス ～どうすれば変わる？住民意識～

■議論のベース

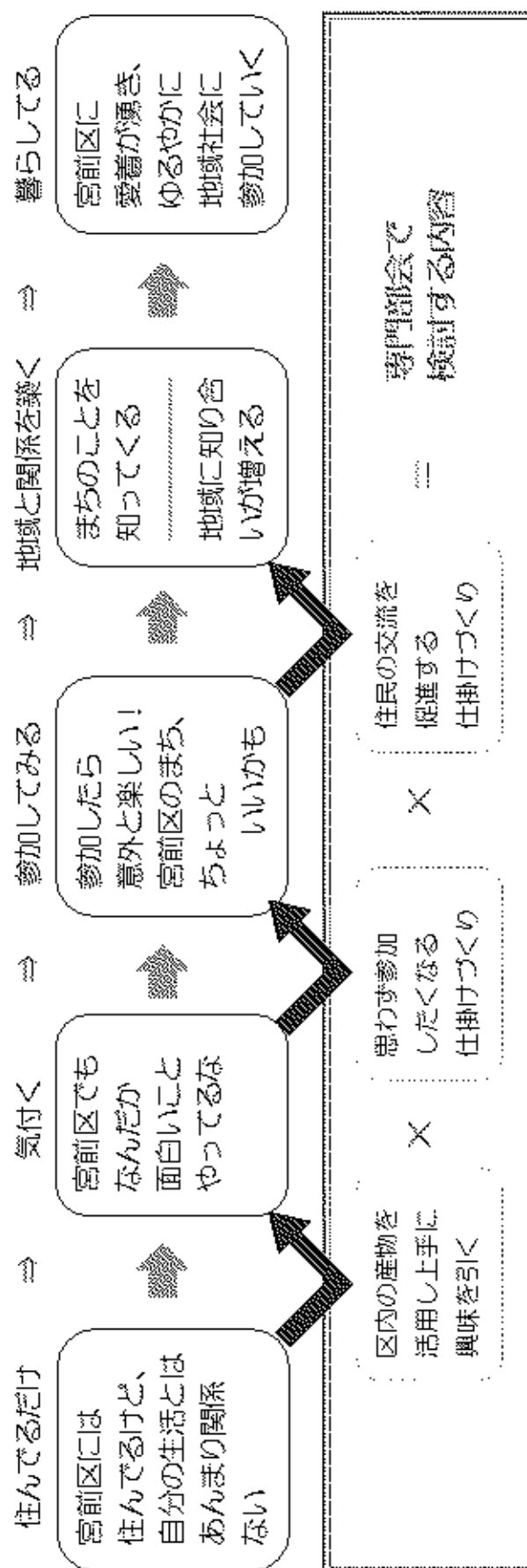
【当面の目標】 区民が「宮前区」を意識する機会を多くし、愛着や帰属意識をつくる

地域社会と接点を持ち、地域社会に関わる・参加する人たちを増やす

【ターゲット】 今は宮前区と離れた生活をしていても、地域社会に参加する素養のある層

⇒ 宮前区に『ただ住んでるだけ』と言う意識を、このまちで『暮らししてる』と言う意識に変えていく

■どうすれば変わる？住民意識



活力づくり部会 検討経過（8月～10月）

第2回全体会（平成22年8月3日）

宮前区らしさ・地域特性を前面に打ち出したコミュニティづくりとして、「活力づくり」というキーワードを軸に検討していくことを選定

第1回（平成22年9月7日）

- ・宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくりのイメージ
- ・具体的な審議テーマ

■コミュニティづくりのイメージ

- ・区民のコミュニティへの関わりについて議論した。地域への参加を促進する対象として、Cを中心にするという議論もあったが、A・Bのタイプを中心に地域参加のきっかけを提供し、①・②にしていくということになった。

地域参加を促す対象

- A: きっかけがあればすぐ参加
B: 地域に参加する素養がある
C: 地域に全くの無関心



A・B層を
①・②に
していく

地域参加の段階

- ①興味を引く、
②参加し、楽しんでもらう
③人材の発掘
④担い手となる
⑤地域のコア

■具体的な審議テーマについて

- ・以下の主な意見が出された。これらをもとに、次回さらに議論を深めることになった。
- ◇宮前区に多い「坂」を活かす ◇坂を含め複数の資源をうまく組合せる
- ◇高齢者が元気になる取り組み

第2回（平成22年10月6日）

- ・これまでの整理
- ・コミュニティにつながる仕掛けづくり

■これまでの整理

- ・地域社会の土壌づくりとして、まちや人に興味を持ってもらい、自然と地域社会に参加してもらうための仕掛けを検討することを確認した。

■具体的な仕掛けづくり等について

- ・主に坂を切り口として議論し、以下のようなアイデアが出された。
- ◇坂を活用したイベント（自転車レース、スタンプラリー、坂の登り方講習等）
- ◇イベントではなく誰もがいつでも取り組めるもの（坂だけでなく眺めの良い所や神社公園などを巡るスタンプラリー、各ポイントでのカロリー表示等）
- ◇他のイベントや既存のものを活用する
- ◇参加したときの成果が見える取り組みにする（景品プレゼント等）
- ◇第2期区民会議までの取り組みも活かす
- ・次回は、坂以外の切り口でのアイデア出し、坂に関連する既存の事例を収集する。

■部会名称、部会長について

- ・名称は「活力づくり部会」に決定（今後、副題をつける可能性がある）
- ・部会長は数名を推薦し、委員長・副委員長に一任する。

第3回全体会（平成22年11月11日）

「コミュニティづくりのイメージ」「当面の目標・ターゲット・アプローチ」などこれまでの議論内容を確認し、意見交換を行った。

■意見交換

- ・第1期の体操や第2期の公園など、これまでの取組と上手く関連付けられないか。
- ・仕掛けとしてはイベントが入りやすいが、それだけに終わらず普段の活動につなげられるようにしたい。
- ・いろいろな団体が上手く連携を取り、区民の横のつながりをつくりたい。
- ・区民マラソンの参加賞に梨や地元の野菜を提供するなど、部会同士のコラボも。
- ・「楽しい」と思えることなら広がる。
- ・植木の里を散歩するとか、坂の上で見られる景色は財産。

第3回（平成22年11月24日）

- ・坂道を活用した取組みのアイデア
- ・坂道以外の視点の抽出
- ・他地域における坂に関連する取組みの紹介

■坂に関連する取組や他の地域の状況（主な3事例を紹介）

- ・「坂道ウォーキングのすすめ」東京都目黒区
 - ◇坂道をテーマにしたコースとともに、ウォーキングアドバイスなどを紹介したマップで、発売開始直後から売れ行き好調
- ・「ZAMA坂道マラソン」神奈川県座間市
 - ◇坂道を活かしたマラソン大会で、走る距離によって3つのコースを設定
- ・「ようよう坂町ウォーキングイベント」広島県坂町
 - ◇行政、大学、商工会が参画し、毎回主催者を変えて、内容のマンネリ化防止と担い手負担の分散を図っている

■坂道を活用したアイデア

- ・主に坂道を切り口として議論し、以下のようなアイデアが出された。
 - ◇坂道のマップをつくり、四季を感じられるようなコースや夜のコースを設定する。
 - ◇コミュニティの場に出てきてもらうためのイベントと普段できる継続的な取組みが必要だと思う。
 - ◇坂道を活用したクイズ・ラリー・ゲームを実施してはどうか。
 - ◇iPhoneアプリを活用するなど若い人が参加するきっかけをつくることもできる。（神社公園などを巡るスタンプラリー、各ポイントでのカロリー表示等）
 - ◇行政やいろんな団体との連携が必要である。

■坂道以外の視点

- ・坂道以外の視点として、神社、公園、河川、団地、階段といった資源が挙げられた。

■次回部会について

- ・次回は、再度坂道を活用したアイデアと坂道以外の視点について議論する。

第4回（平成23年1月21日）

- ・坂道以外の視点の抽出
- ・今後の検討の進め方

- ・坂道を活用した取り組みのアイデア
- ・区民会議フォーラムの開催について

■坂道以外の視点

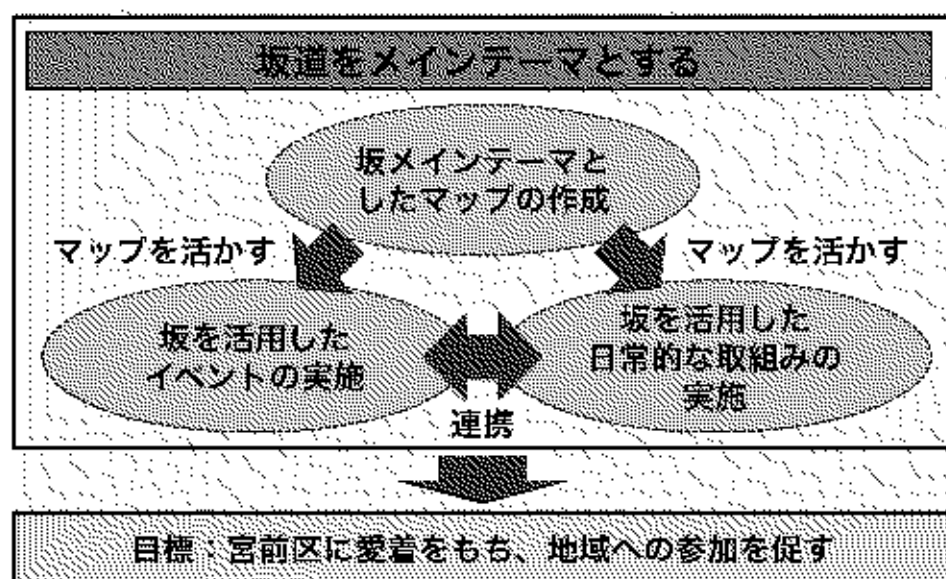
- ・坂道以外の視点について検討した結果、坂道を軸として、坂道周辺にある資源についてとりあげることにした。

■坂道を活用したアイデア

- ・主に坂道を切り口として議論し、以下のようなアイデアが出された。
 - ◇マップは坂道に限らず、坂道周辺の資源の情報も一緒に提供できるとよい。
 - ◇マップはイベントと連動するようなものをつくりたい。
 - ◇ただ作っただけで終わらないように、川崎フロンターレの協力を得るなどマップのPRにも力を入れたい。
 - ◇マップの作成にあたっては、目黒区の事例やこれまで区で発行されてきたマップを参考にしながら作成する。
 - ◇イベントは既存のイベントとの並列ではなく、それらを包括するようなものにしたい。
 - ◇イベントの景品については農・商・工と連携できるとよい。
 - ◇坂道をいろんな形で取り上げるにより多様な世代と関わられるようにしたい。

■今後の進め方

- ・今後の進め方は下記のとおりとした。
- ・次回はマップについて議論する。これまでの部会での意見を踏まえて検討する。



■区民会議フォーラムの開催について

- ・3月12日（土）に開催予定のフォーラムの案を説明した。

活力づくり部会 検討経過報告

第3回：平成22年11月24日（水）

第4回：平成23年 1月21日（金）

平成23年2月10日

第3回と第4回の検討内容

第3回：平成22年11月24日（水）

- ・坂道を活用した取り組みのアイデア出し
- ・坂道以外の視点の抽出
- ・他地域における坂に関連する取り組みの紹介



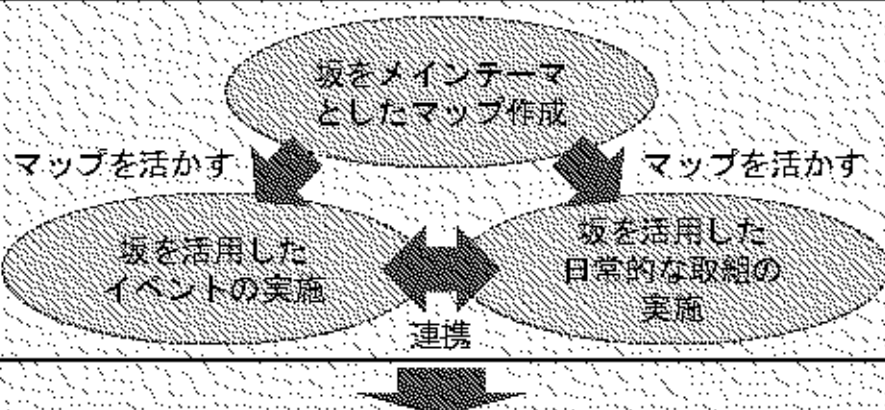
第4回：平成23年1月21日（金）

- ・坂道以外の視点の抽出
- ・坂道を活用した取り組みのアイデア出し
- ・今後の検討の進め方
- ・区民会議フォーラムの開催について

今後、検討の中心となる項目

2

坂道をメインテーマとする



目標：宮前区に愛着をもち、地域への参加を促す

坂道を活用した既存の取組

3

■坂道ウォーキングのすすめ（目黒区）

- ・坂道をテーマにし、7テーマに沿ったコースを紹介
- ・坂道ウォーキングのアドバイス
準備体操・整理体操についても紹介
- ・オリンピックで活躍したマラソン選手（東海大宇佐美名誉教授）のコメントを掲載
- ・1冊200円で販売中だが、メディアにも取り上げられ、行政の刊行物としては異例の売れ行き



坂道を活用した既存の取組

4

■ZAMA坂道マラソン（座間市）

- ・坂道を活かしたマラソン
- ・走る距離によって3つのコースをつくり、幅広い世代を対象にしている



■ようよう坂町ウォーキングイベント（広島県坂町）

- ・行政・大学・商工会が参加し、毎回主催者を変えて、内容のマンネリ化を防止するとともに、担い手の負担を分散している

部会で出された主な意見

～坂道をテーマとしたマップに関する主な意見～

5

■マップで取り上げる地域の資源

- ・坂道だけでなく、坂道周辺にある資源も取り上げる（神社、地蔵、公園、河川、団地、階段など）
- ・景色の良い場所を回れるようにする（坂の上から見る富士山スポットなど）

■マップで紹介するコース

- ・四季を感じられるコースを設定する
- ・ナイトコースを設定する

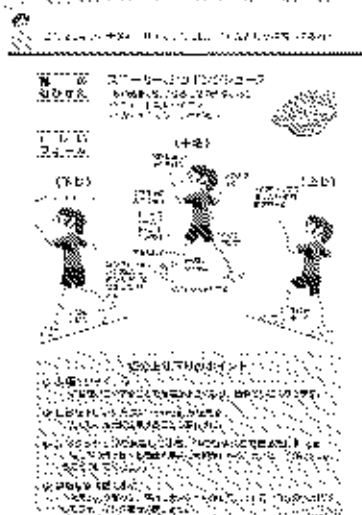
部会で出された主な意見

～坂道マップの作成に関する主な意見～

6

■健康づくりに関する情報の掲載

- ・坂道の歩き方について掲載する
(膝の曲げ具合や呼吸法など右図のようにする)
- ・坂道を歩いたときなどの消費カロリーを表示する



部会で出された主な意見

～坂道マップの作成に関する主な意見～

7

■マップのPR方法

- ・著名人の協力を得てPRする
(川崎フロンターレの選手・ふろん太くんなど)
- ・坂道に関するCMをつくり、マップの付録としてDVDをつける

■マップ作成にあたって参考とする資料

- ・区内でこれまで発行されてきたマップや
目黒区発行の「坂道ウォーキングのすすめ」を参考にする

部会で出された主な意見

～坂道を活用した日常的な取り組みに関する意見～

8

- ・坂道ラリー
(全ての坂道写真をとったら、景品プレゼントなど)
- ・坂道写真クイズ
(同じ写真を取れたら景品プレゼントする)
- ・坂道ゲーム
(いくつかの坂道を巡り、隠されている言葉をつなぐと、ひとつの言葉になる)
- ・名前の付いていない坂道に名前をつけるなど、親しみをもってもらう機会をつくる。
- ・iPhoneアプリ(右写真)などを使い、若い人が参加するきっかけをつくるとともに、話題性の高いものにする



部会で出された主な意見

～坂道を活用したイベントに関する意見～

9

■イベント内容

- ・ウォーキングラリーやスタンプラリー
- ・坂道をつないだコースをつくりマラソン
- ・ツール・ド・ミヤマエ
電動・ママチャリ・補助輪付きなど部門別で実施できる
⇒定例開催は運営が大変。いろんな団体が交代で開催すればマンネリ防止と負担分散できる。
⇒既存のイベントと連携して行う
⇒区の自転車保有率は低く、関心が持たれないのでは
⇒交通規制など少し大掛かりになるのではないか
- ・坂道の歩き方や健康診断も併せて実施できるとよい

■イベントの参加賞

- ・農商工と連携して、宮前区の産物を使ったらどうか

地参知笑部会 検討経過（8月～1月）

第2回全体会（平成22年8月3日）

宮前区らしさ・地域特性を前面に打ち出したコミュニティづくりとして、「地産地消」というキーワードを軸に検討していくことを選定

第1回（平成22年8月31日）

・宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくりのイメージ

■コミュニティづくりのイメージ

- ・区民のコミュニティへの関わりの深さは、①興味を引く ②参加し楽しんでもらう ③人材の発掘 ④担い手となる ⑤コアとなる、の5段階があり、どの層を中心に考えていくかについて議論した。
- ・①興味を引くと②参加し楽しんでもらうについては、お祭りなど既にいろいろな活動があるので、③人材の発掘や④担い手づくりを中心にやっていった方がいいという意見もあったが、まだまだコミュニティと関わりのない区民が多くいるため①と②を中心に考えていくことになった。

第2回（平成22年9月30日）

・地産地消の具体的な題材

・部会名称と部会長

■地産地消の具体的な題材について

- ・具体的な題材としては以下が出された。
 - ◇樹木や緑
 - ◇食材や区内の産物を使った料理、お店
 - ◇人
- ・これらをもとに、どのように仕掛けていくかを検討する中で題材を絞っていくことになった。

■部会名称、部会長について

- ・名称についてはもう少し内容を固めたうえで検討することとなった。
- ・部会長については候補者を出したうえで委員長・副委員長に一任する。

第3回全体会(平成22年11月11日)

「コミュニティづくりのイメージ」「当部の目標・ターゲット・アプローチ」などこれまでの議論内容を確認し、意見交換を行った。

■部会名称

- ・「地・産・地・消」には同音異句として、地域に【参加】、地域を【知る】、【笑顔】になる【紹介】する、【お奨め】するなどが考えられるので、幅広く捉えて議論を進めていきたい。名称は第3回部会で決定する。

■部会長

- ・企画部会の検討結果を諮り、持田委員が部会長に就任

■意見交換

- ・産物については、実際に宮前区に住む区民でなければ知らないようなものを紹介し、地域住民のつながりができるものにしたい。
- ・自分たちが「楽しい」と思えるような提案ならば、きっと広がるし、いろんな人を誘って次のステップに進める。
- ・やはり「地のもの」は元気のもと。
- ・いろいろな団体が上手く連携を取り、区民の横のつながりをつくりたい。
- ・区民マラソンの参加賞に梨や地元の野菜を提供するなど、部会同士のコラボも。
- ・農産物に限定しないで、宮前区の産物を幅広く捉えて進めたい。
- ・居酒屋で宮前区の野菜が好評だったり、安藤園でキウイ発売日に行列ができたり、宮前ロールの例など、仕掛け次第では地産地消の効果はとても大きい。
- ・地元のものを見直す、気付かないものを気付くようにしてあげるといのが大事。

第3回(平成22年12月2日)

・地産地消を通じたコミュニティづくり

・部会の名称

■地産地消を通じたコミュニティづくり

- ・題材、仕掛けづくり、コミュニティづくりについては以下の意見が出された。

題材	仕掛けづくり	コミュニティづくり
イベント	・マラソン時のイベント開催 ・「区民の日」に一齐にイベントを開催する	・ランナー参加 ・ボランティア参加 ・企業・商店街とのコラボ
特産品	・料理をする ・直産所等で販売	
名所、特産品	・「宮前区の歌」をつくる ・ミステリーツアー開催 ・講座	・人の発掘、小学校等で歌う
町内会、自治会	・加入キャンペーン	
人	・マイスター制度	
情報	・情報をまとめて発信 ・プロモーションビデオ	

■部会の名称

- ・「地元に参加して知って笑顔になろう」という意味で「ちさんちしょう地参知笑」とする。

第4回（平成 23 年1月 28 日）

・コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり

・区民会議フォーラム

■コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり

- ・区民に情報が届いてない、情報を集約してはどうかという意見があった。
- ・新しく宮前区に来た人に区内の産物を紹介するための冊子（宮前区版「るるぶ」のようなもの）を検討していく。その際、記者を募集したり、お祭りなどで参加できることを書き込んだりして、サイレントマジョリティが地域に参加できる仕組みも考えていく。
- ・次回は目次案を検討する。
- ・なお、マラソン等については、活力部会が進めていくということなので、本部会ではコラボして参加して楽しんでもらえるものの提供を検討していく。

■区民会議フォーラム

- ・参加者は、各委員が一人ずつ連れてきてもらうことをイメージしている。
- ・「各産品でティータイム」について担当したいという声が上がった

地参知笑部会 検討経過報告

第3回：平成22年12月 2日（木）

第4回：平成23年 1月28日（金）

平成23年2月10日

第3回と第4回の検討内容

第3回：平成22年12月2日（木）

- ・地産地消を活用したコミュニティづくりのアイデア出し
- ・部会の名称 ⇒ 地参知笑（ちさんちしょう）



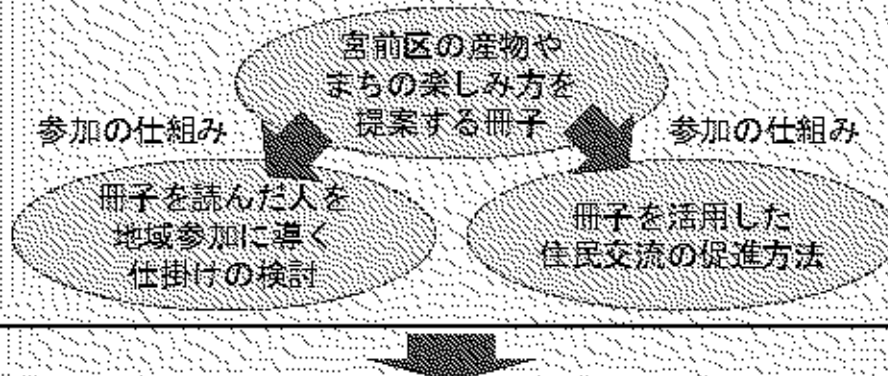
第4回：平成23年1月28日（金）

- ・コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり
- ・区民会議フォーラムの開催について

今後、検討の中心となる項目

2

題 材：宮前区の産物（モノ・場所・活動・人）
仕掛け：冊子による情報発信



目標：宮前区に愛着をもち、地域への参加を促す

宮前区の産物（モノ・場所・祭り・人）

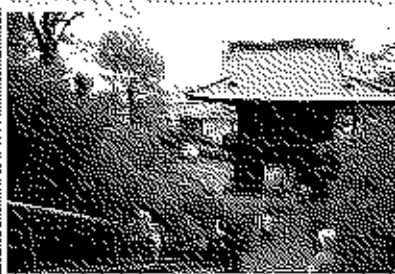
3

■冊子で紹介する宮前の名物のイメージ

- ・次回に目次を検討
- ・産物や場所、祭り、人などを紹介する予定



小泉農園のイチゴ（小泉農園HPより）



等覚院のつつじ

宮前区の産物（モノ・場所・活動・人）

4

■冊子で紹介する宮前の名物のイメージ



馬絹神社の例大祭

フロンタウン
さぎぬま
なつまつり



東高根森林公園の
収穫感謝祭

宮前区の産物・まちの楽しみ方を情報発信

5

■見たくなるような工夫

- ・興味深いものを抜粋する
- ・情報を整理・統合する

⇒イメージするなら

『宮前区版るるぶ』か？

■ターゲットまで届ける仕組みは？

- ・例えば、宮前区への転入者には全て手渡す

（年間約6,000人程度）

- ・株ゼンリン発行のmirrortoを参考に全世帯ポスティングも



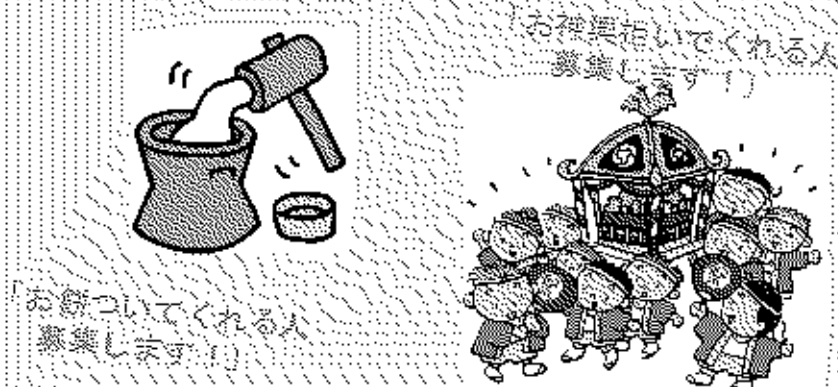
るるぶ川崎市
2010年12月10日発行
（JTBパブリッシング
HPより）

冊子を読んだ人が地域に関わる仕組み

7

■地域参加につながる情報を掲載

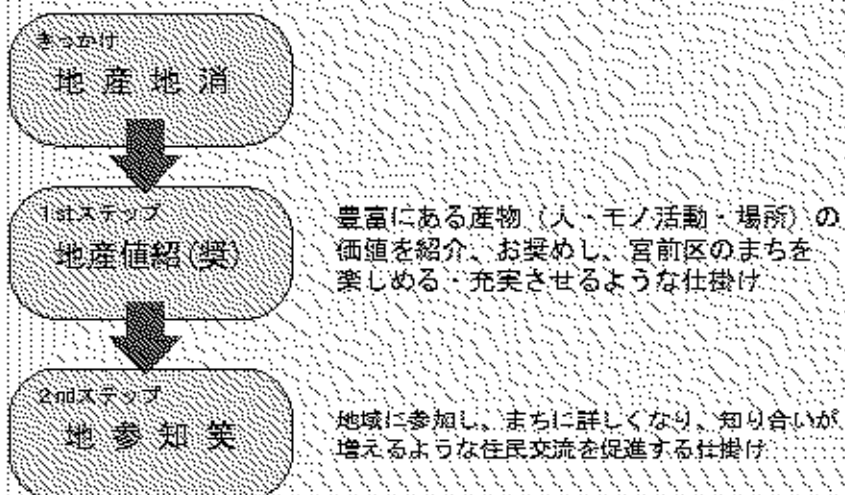
- ・「神輿の担ぎ手を募集しています」など、冊子を読んだ人が地域に参加するきっかけになるような情報



部会進行のイメージ

8

■「地産地消」から「地参知笑」へ

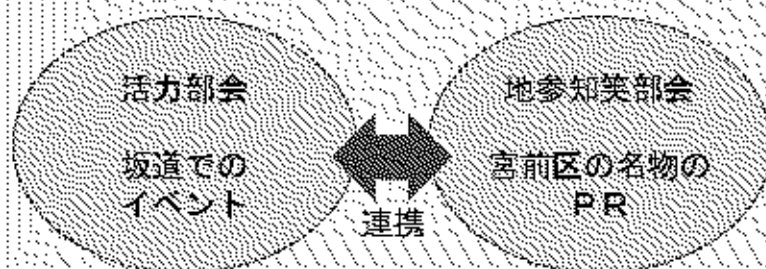


部会で出されたその他の意見

8

■活力づくり部会との連携

- ・活力づくり部会でマラソン等をもし実施するのであれば、連携して、宮前区の名物をPRもできれば



平成 22 年度 宮前区区民会議フォーラムについて（案）

1 日時

平成 23 年 3 月 12 日(土) 13:30~16:00

2 場所

宮前区役所大会議室

3 目的

- (1) より多くの区民に区民会議の意義、活動内容を知ってもらう。
 (2) 参加した区民とともに、「宮前区らしさ・コミュニティづくり」について考える。
 (3) 提言後、取組を進める段階になったときの担い手・協力者を増やす。

⇒区民とともに拡大区民会議を開こう！というイメージ

4 内容

- (1) 区民会議からの検討状況報告 20 分
 (2) 事例紹介 40 分
 (3) グループワーク・部会のテーマに会場を分かれての意見交換会 40 分
 (4) グループワーク発表とフォーラム総括 20 分

5 グループワークについて

- ・活力づくり部会、地参知笑部会の両部会それぞれのテーマ内容に沿って、参加者と共に検討を深めるグループワークを開催する。
- ・参加者はその場で参加したいと思った方のグループに参加する。

6 グループワーク進行案（全体 1 時間）

- ・部会テーマに関連した投げかけを行い、ディスカッション。(40 分)
 活力づくり 坂を活用してやりたいこと
 坂道でどんなことしたら楽しいだろう？
 地参知笑 宮前区の産物でどんなことができる？
 宮前区の面白ガイドをつくるなら、どんなコンテンツがあるだろう？
- ・ディスカッションの振り返り、まとめ(10 分)
 各グループが、ラベルで振り返りを行った上で、まとめの議論を行う。

7 事例紹介

- ・今後の議論の参考とするため、第 3 期テーマに関連した取り組みをゲストスピーカーとして招き、事例を紹介してもらう。
 活力づくり ZAMA坂道マラソン 【座間市・座間青年会議所】

8 スケジュール

時間	内容	役割分担
12:30	集合・設営 リハーサル	全員
13:00	開場・受付	受付係
13:30	開会・あいさつ・流れの説明	山下委員長
13:35	区民会議からの検討状況報告 プロジェクター等で簡潔に 20 分	報告：佐藤部会長 持田部会長
13:55~ 14:35	事例紹介と意見交換 プロジェクター等で 40 分程度	
休憩①10分 各産品でティータイム？		セッティング・応接班
14:45~ 15:25	グループワーク 4テーブル	進行：部会長+副委員長 書記係
休憩②10分 各産品でティータイム？		セッティング・応接班
15:35	報告 20 分 (各テーブル発表 3 分・意見交換 2 分)	発表者：
15:55	あいさつ・閉会	山下委員長
16:30?	撤収・解散	全員

9 役割分担：区民会議委員全員で運営しよう！

会場設営・撤収	全員でやりましょう！	
受付係		
総合司会	恒川副委員長	
ティータイム対応班		
グループワーク発表者	佐藤部会長	
	持田部会長	
グループワーク書記		

第3期宮前区区民会議 中間報告書 構成（案）

はじめに（委員長あいさつ）

目次

第1章 第3期の取り組み

1. 共通テーマ 宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくり
～宮前区を、「ただ住む」だけでなく「暮らす」場所に～
2. 個別テーマ テーマ検討会・拡大企画部会を通じたテーマの絞り込み

第2章 区民会議の審議状況（活動記録）

1. 全体会と企画部会
 - ・開催経過と検討内容
 - ・両部会共通のアプローチ
2. 活力づくり部会
 - ・テーマ設定と検討内容
 - ・開催経過
 - ・今後の方向性や解決すべき課題
3. 地参知実部会^{きふんしじつ}
 - ・テーマ設定と検討内容
 - ・開催経過
 - ・審議内容
 - ・今後の方向性や解決すべき課題

第3章 区民会議フォーラム

1. 活動状況報告と事例紹介
2. 分科会（参加者とのディスカッションの様子を記録）

第4章 区民会議提案の進捗状況

資料編

1. 委員名簿
2. 全体会 資料抜粋
3. 専門部会 資料抜粋 議論ペーパー
4. 区民会議だより

宮 前 区



区の概要

■面 積 18.60 km²
 ■人 口 219,119 人

■世帯数 92,463 世帯
 (2010年9月1日現在)

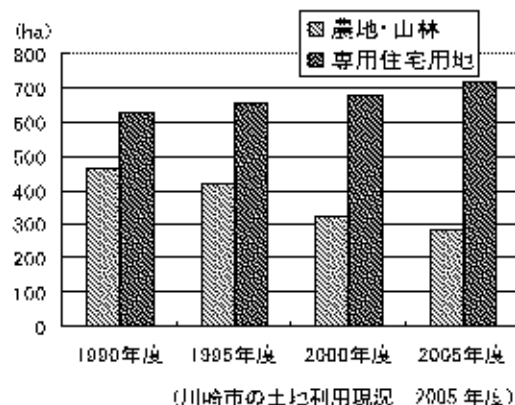
区の概況・特性

- 宮前区は、本市の北西部に位置し、古くから農村地域としての営みが行われてきました。1889 年の市制・町村制の実施により、宮前村と向丘村が生まれ、1982 年 7 月には、高津区から分区し、宮前区となりました。2012 年には区制 30 周年を迎えます。
- 区域は、山坂が多く起伏に富んだ地形になっています。自然環境は、平瀬川、矢上川及び有馬川などの河川、生田緑地や菅生緑地、東高根森林公園等の豊かな資源に恵まれています。また、農地が多く残されていて、メロンやトマト、ブコッコリーなどが「かわさき農ブランド」に登録されています。
- 2006 年に宮前区のシンボルゾーンとして「カッパーク管治」がオープンしました。その後、「有馬・野川生涯学習施設」や「こどもサポート南野川」が開設するなど、市民が身近に利用できる公共施設の整備が進んでいます。
- 1966 年の東急田園都市線の開通や 1968 年

の東名高速道路の開通に伴う東名川崎インターチェンジの開設などにより飛躍的に交通が発達し、郊外住宅地として開発が進みました。そのため、東京などに通勤・通学する人が多くなっています。

- 人口は、分区時の約 15 万人から増加の一途をたどり、近年は 21 万人を超える規模となっています。

宮前区内の土地利用面積の推移



宮前区

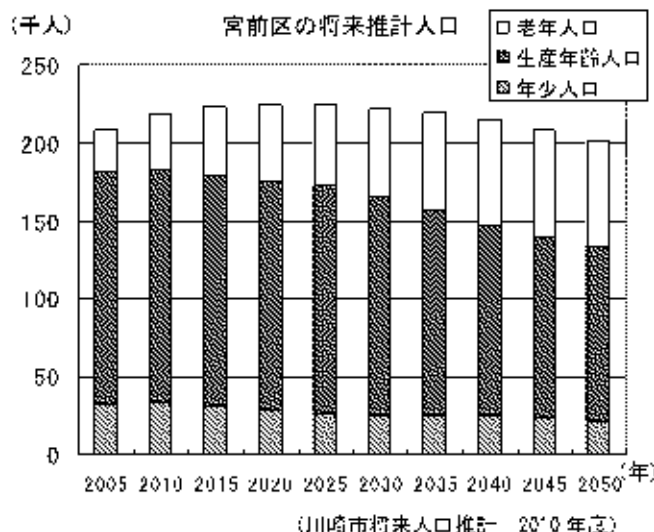
■宮前区の現状と主な課題

子育てをめぐる環境

- 宮前区では、0歳から14歳の年少人口が7区のうち最も多く、人口に占める割合も15.2%と最も高くなっています。また、転入者が多く区内居住期間が短いことや、核家族化が進行していることから、子育てに不安を抱える親が増加していることが課題となっています。
- 子育てに不安を抱え、孤立しがちな親をサポートすることで、親が子育てを楽しみ、明るく元気な子どもが育つよう、身近な地域でのきめ細かい子ども・子育て支援を展開するとともに、地域の子育て活動や仲間づくりを支援する必要があります。

高齢化の進展

- 宮前区では、比較的若い世代が多く住んでいますが、高齢化率は現在の約15%から5年後には約20%になることが予測されています。また、公営住宅が多く、子の転出等により高齢者の単身世帯が増加し、地域コミュニティとの関係の希薄化が懸念されています。
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、高齢化が進む公営住宅などにおいて、地域や関係機関との連携により、高齢者への必要な支援を行うとともに、高齢者の孤立化を防ぐため、住民同士が顔の見える関係をつくり、地域での見守りを進める必要があります。

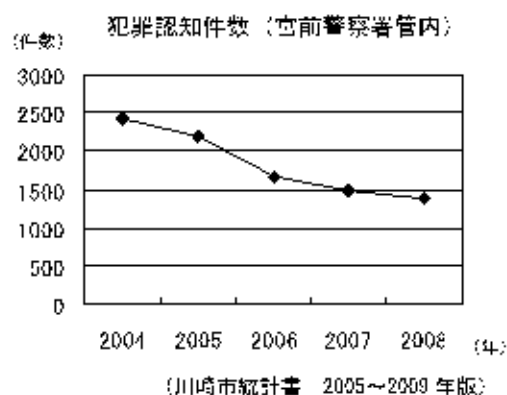


地域交通環境の状況

- 宮前区は、多くの地域が丘陵地であるため、徒歩や自転車による移動距離が限られていることに加え、公共交通網の状況などから、駅や区役所などの主要な公共施設へのアクセスが課題となっています。
- 交通手段に頼らなくても、身近な地域で子育て世代や市民活動へのサポートが行われるよう、区内の公共施設等を有効活用しながら、きめ細かい言葉展開をする必要があります。

安全・安心なまちづくり

- 近年、犯罪が複雑・多様化する中で、特に市境や区境では、行政区域を越えた取組が必要となっています。犯罪情報の共有や地域ぐるみでの子どもの見守りの取組を強化するなど、市境や区境を越えて地域の住民や区役所、警察等が連携した防犯活動の取組を推進するとともに、安全対策の充実を図っていく必要があります。



- 歩行者等の安全性の向上を図るため、道路の整備や橋りょうの耐震対策などを行い、安全で災害に強いまちづくりを推進するとともに、災害時に備え、日頃からの防災意識の醸成や災害発生時の被害軽減を図る取組を、帰宅困難者への対応を含め、充実していく必要があります。
- 房総川道路の宮前平駅周辺では、台風や近年多発するゲリラ豪雨などによって道路冠水が発生しています。道路冠水の発生抑制と冠水被害を低減させることで、通車車両と歩行者の安全を確保する必要があります。

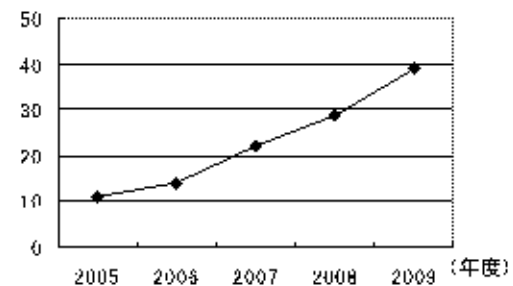
地域活動及び地域コミュニティの状況

- 宮前区では、町内会・自治会や市民活動団体等を中心に、地域活動や福祉・環境などの分野での市民活動が活発に行われています。
- 高齢化や定住化に伴い、地域活動や市民活動の担い手の固定化が生じていることから、シニア世代など、多様な世代に働きかけて新たな担い手となる地域人材の育成や社会参加の促進を図る必要があります。
- 坂が多く地域が分断されていることから、地域の拠点施設を整備することによって、地域活動団体相互の連携を深める必要があります。
- 第2期区民会議(2008～2009年度)では、地域課題を解決していくためには、地域での顔の見える関係づくりが重要であるとの考えから、「まちのコミュニティづくり」を共通のテーマとして掲げて審議を行い、公園の活用やカルタづくりを通じた地域コミュニティの活性化が提言されました。

スポーツと健康のまちづくり

- 宮前区には、さまざまな地域のスポーツ団体、宮前スポーツセンターやフロンタウンさぎぬま等のスポーツ施設があります。
- 2010年12月には、区役所とフロンタウンさぎぬまが、スポーツを核に幅広い分野で連携することをめざして、まちづくり連携協定を締結しました。
- スポーツを通じた魅力あるまちづくりと市民の健康づくりを進めるため、区内のスポーツ資源を活用して、誰もがいつでもスポーツに親しめる環境を整備する必要があります。
- 生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防、介護予防の観点から、区民の健康への関心が高まっており、地域住民が主体の公園体操の普及も進んでいます。
- 区民がすこやかに暮らしていくために、食生活、公園体操をはじめとする運動などの区民の健康的な生活習慣への取組を支援する必要があります。

(数) 区内公園体操グループ数

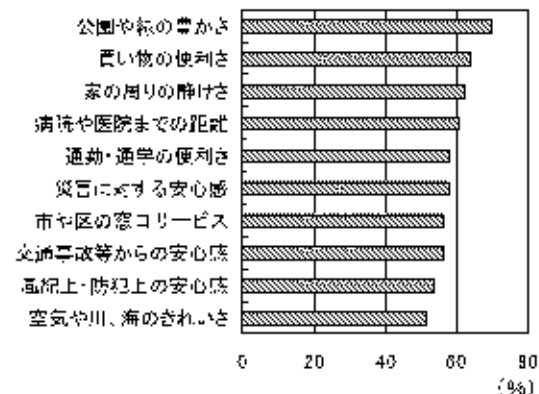


(本市調べ)

地域の魅力発信

- 宮前区は、自然環境や区内で収穫された農産物、歴史的な文化遺産など、魅力的な地域資源に恵まれています。また、カッパーク風呂をはじめとする公共施設、さまざまな祭りやコンサートなど、市民が楽しめる要素が数多くあります。
- 2010年3月にまとめた、かわさき市民アンケートにおいては、生活環境満足度の1位には「公園や緑の豊かさ(69.8%)」、3位には「家の周りの静けさ(62.6%)」が挙げられ、身近な緑や生活環境への満足度が高くなっています。

宮前区生活環境満足度



(かわさき市民アンケート報告書 2009年度)

- 宮前区には馴染み深い区民や「川崎郡民」と呼ばれる区民も多いことから、こうした地域の魅力を積極的に発信していく必要があります。それにより、地域への愛着や関心を高め、さまざまな世代の区民が互恵で交流し、地域コミュニティの活性化につながっていくことが期待されます。

宮 前 区

■地域の課題解決に向けた主要な取組

① 子ども・子育て支援の推進

■計画期間(2011～2013年度)の取組

- 子育てに関するホームページや冊子等による情報提供、セミナーやイベントによる育児支援、区役所における総合相談などの取組の充実を図ります。
- 区役所へのアクセスが不便な地域の子ども・子育て支援のため、向丘出張所やこどもサロ

ート南野川を拠点とし、情報提供、子育て活動支援及び交流の場の提供などを行い、地域の子育てをサポートします。

- また、地域主体の「冒険あそび場」活動の支援を通じ、明るく元気な子どもを育成します。

■具体的な事業と事業内容・目標

事業名	現状	事業内容・目標			
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降
子育て情報発信事業 (総合的な子ども支援事業) 子育て情報誌の発行やホームページの更新、子育てのいる転入世帯等に対する子育て支援に変わる情報を体系的に提供します。	●「みやよえ子育てガイド とことこ」の創刊 ●「とことこ」ホームページの更新・公開	●「みやよえ子育てガイド とことこ」の創刊 ●「とことこ」ホームページによる情報発信	●「みやよえ子育てガイド とことこ」の改定・配布	●「みやよえ子育てガイド とことこ」の配布	事業推進
親と子の子育て応援セミナー開催事業 (総合的な子ども支援事業) 親の子育て力を養成し、仲間づくりや子育てグループの人的育成を図るため、子育てに関する知識と技術を持つ公立保育所の人材を活用し、セミナーを開催します。	●親と子の子育て応援セミナーの開催	●親と子の子育て応援セミナーの開催			事業推進
子ども包括支援事業 (総合的な子ども支援事業) 野川・南島地区の子ども・子育て拠点「こどもサポート南野川」で、いじめや不登校の子どもへの支援づくり、子育てサロンや子育て相談、フリースペースの提供などを行います。	●子育てサロンの開催 ●子ども・子育ての相談、情報提供 ●子育て自主リークルなどへのスペースの貸し出し ●子ども・子育て支援の講座、イベントなどの実施 ●不登校児などの居場所づくり	●子育てサロンの開催 ●子ども・子育ての相談、情報提供 ●子育て自主リークルなどへのスペースの貸し出し ●子ども・子育て支援の講座、イベントなどの実施 ●不登校児などの居場所づくり			事業推進

② 高齢者の見守りの促進

【統計総覧欄(2011～2013年度)の取組】

- 高齢者の孤立化を防ぎ、地域で安心して暮らしていくために、区内の公営住宅において、住民同士の顔の見える関係づくりを進め、

地域主体の見守り活動や居場所づくり、地域コミュニティの活性化への支援を行います。

【具体的な事業と事業内容・目標】

事業名	現状	事業内容・目標			
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降
地域が主体となった高齢者の見守り促進事業 (老老福祉・健康づくり事業) <居区連携事業> 【区民会協議】 公営住宅において、高齢者が安心して暮らしていくために、住民同士の顔の見える関係づくりを進め、高齢者単身世帯の見守りに取り組みます。	●高齢者の見守りの促進に向けた検討	●高齢化が進む公営住宅についての調査	●高齢者見守りのモデル事業の実施	●高齢者見守りのモデル事業の実施及び他地域への展開	事業推進

③ 安全・安心なまちづくりの推進

【統計総覧欄(2011～2013年度)の取組】

- 防犯、交通安全、防災の各分野における安全で安心なまちづくりを実現するため、地域防犯パトロールへの支援、登下校時における子どもの安全確保、大規模災害に備えた区民の防災意識の向上など、自助・共助・公助活動を推進します。

- 尻手川沿いの宮前平駅周辺における道路冠水の発生抑制と冠水被害を低減させるため、雨水排水先の矢上川の改修工事を実施します。

【具体的な事業と事業内容・目標】

事業名	現状	事業内容・目標			
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降
安全安心なまちづくり推進事業 (安全・安心なまちづくり事業) 区民、地域団体、事業主、行政機関等の連携・協働により「防犯・交通安全・防災」のそれぞれの分野の活動をサポートし、暮らしやすい環境づくりに取り組みます。	●区民・地域団体に対する啓発活動 ●市民救命ネットワークの推進 ●各隣接区との区境を越えた合同防犯パトロールの実施	●区民・地域団体に対する啓発活動 ●市民救命ネットワークの推進 ●各隣接区との区境を越えた合同防犯パトロールの実施			事業推進
尻手川沿いの冠水対策 (安全・安心なまちづくり事業) <居区連携事業> 尻手川沿いの宮前平駅周辺地域における雨水排水能力を改善し、道路冠水被害の軽減に取り組めます。	●矢上川河川改修工事業	●矢上川河川改修工事着手	●矢上川河川改修工事の推進		事業推進

宮 前 区

④ 地域交通環境の課題への対応

【計画期間】(2011～2013 年度)の取組

- 駅や公共施設にアクセスしづらい地域について、地域住民が主体となったコミュニティ交通をめざして、技術的助言や情報提供などの支援を行うとともに、交通アクセスの向上について検討します。

- 向丘出張所などの区内の公共施設を活用し、交通手段に頼ることのない身近な地域において、子ども・子育て支援や市民活動支援などの事業を実施します。

【具体的な事業と事業内容・目標】

事業名	現状	事業内容・目標			
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降
交通の不便な地域への解消・地域交通環境の整備に向けた支援 (安全・安心まちづくり事業) ＜局域連携事業＞ 地域住民が主体となったコミュニティ交通をのぞくため、地域と行政の役割分担を明確にしつつ、安定的・継続的な運行に必要な支援などを行います。	●野川・向丘地区 継続的・定時的な運行の支援 ●その他の地区 各地区における利用の促進に向けた支援など	●野川・向丘地区 継続的・定時的な運行の支援 ●その他の地区 各地区における利用の促進に向けた支援など			事業推進
地域の子ども・子育て支援拠点の整備事業 (総合的に子ども支援事業) 安心して子ども・子育てに関するサービスを受けられるようにするため、区役所、川尻子のレイアウト変更に合わせて、子ども・子育てにやさしい庁舎環境を整備します。	●子ども・子育てにやさしい庁舎環境の整備検討	●安全、安心なキッズコーナーの設置や子ども・子育てコーナーの拡充など区役所の環境整備 ●子ども情報コーナーの拡充や世代間の交流が可能なキッズコーナーの設置など向丘出張所の環境整備	●安全、安心なキッズコーナーの設置や子ども・子育てコーナーの拡充など区役所の環境整備完了 ●子ども情報コーナーの拡充や世代間の交流が可能なキッズコーナーの設置など向丘出張所の環境整備完了		

⑤ 地域活性化に向けたコミュニティづくり

【計画期間】(2011～2013 年度)の取組

- 地域ごとの自主的なまちづくり活動ができる人材の育成を図るとともに、活動団体の相互交流と拠点施設の活用によって地域への活動の展開を推進します。
- 区制30周年である2012年の完成をめざし、みやまえカルタを制作し、幅広い世代の参加

によるカルタづくりを通じて、地域コミュニティの活性化を図ります。

- 公園などを活用し、地域住民が主体となっていく「冒険あそび場」活動を支援することで、地域コミュニティの活性化と次世代育成の場づくりを進めます。

【具体的な事業と事業内容・目標】

事業名	現状	事業内容・目標			
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降
地域活動の促進に向けた人材育成及び推進体制の整備事業 (地域ポテンシャル強化推進事業) 地域ごとの自主的なまちづくり活動を促進するため、多様な世代や市民層への働きかけによって地域活動の裾野を広げ、地域への展開を推進します。	●地域人材育成相談の開始	●地域人材育成相談の策定 ●生涯学習推進委員会等関係機関における情報共有と意見交換 ●連絡モデル事業の実施・検証	●地域人材育成相談に基づく取組の推進		事業推進

事業名	現状	事業内容・目標			
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降
みやまえカルタ制作事業 (地域コミュニティ活性化推進事業) 【区民会議課課】 2012年の区制30周年をのぎし、地域主体による地域資源等を題材にした中学校区ごとのカルタづくりを進め、県人展として区全体のみやまえカルタを制作します。	●中学校区ごとのカルタ及び区制30周年記念みやまえカルタの制作に向けた取組	●区制30周年記念みやまえカルタの制作に向けた取組 ●市原のカルタの完成	●区制30周年記念みやまえカルタの完成 ●区制30周年記念カルタ大会の開催 ●完成したカルタの地域や教育現場での活用		事業推進
冒険あそび場発見支援事業 (地域コミュニティ活性化推進事業) ＜旧区並機事業＞ 【区民会議課課】 公園などを活用し、地域住民が主体となって行う「冒険あそび場」活動を支援することにより、地域コミュニティの活性化と次世代育成の場づくりを進めます。	●支援要綱の策定	●支援要綱に基づく地域主体の冒険あそび場活動の支援 ●冒険あそび場活動支援事業の普及・推進 ●市原の新しい手の育成			事業推進

⑥ スポーツと健康のまちづくり

■計画期間(2011～2013年度)の取組

●宮前区のスポーツ資源を活用した区の取組方針をまとめ、フロンタウンさきぬまとの連携など誰もがいつでもスポーツに親しめる環境の整備、スポーツを通じた健康づくりや地域コミュニティづくりを推進します。

●区民が健康でいきいきと生活していくため、身近な健康づくりについての情報紙や公園体験マップを発行し、区民の健康づくりの習慣化や活動への支援を行います。

■長期的な事業と事業内容・目標

事業名	現状	事業内容・目標			
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降
宮前区魅力あるスポーツ推進事業 (地域コミュニティ活性化推進事業) スポーツを通じた区民主体のまちづくりと健康増進のために、各種スポーツ事業を実施するとともに、地域資源を活用した地域スポーツの活性化を図ります。	●宮前区スポーツ振興指針の策定 ●地域総合型スポーツクラブの設立・育成支援 ●宮前スポーツセンターを拠点とした室内スポーツの振興 ●フロンタウンさきぬまとの連携	●宮前区スポーツ振興指針の策定 ●地域総合型スポーツクラブの設立・育成支援 ●宮前スポーツセンターを拠点とした室内スポーツの振興 ●フロンタウンさきぬまとの連携	●条例に基づく取組の推進		事業推進
健康づくり支援事業 (地域福祉・健康づくり事業) 区民が健康でいきいきと生活していくため、身近な健康づくりや取り組みやすい情報を提供する情報紙や健康づくり、介護予防のための公園体験マップを発行します。	●健康づくりに関する情報提供 ●公園体験マップの発行	●健康づくりに関する情報提供 ●公園体験マップの発行			事業推進

宮 前 区

■計画期間（2011～2013 年度）の取組

事業名	現状	事業内容・目標			
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降

基本政策Ⅰ 安全で快適に暮らすまちづくり

Ⅰ－１ 暮らしの安全を守る

防災意識普及啓発事業 （安全・安心まちづくり事業） 【区民会議場内】 大規模地震等の災害に備えるため、防災フェアの開催や防災ニュースの配布などを通じて、区民に防災に関する知識を届けたい。	●防災フェアの開催 ●防災ニュースの発行 ●防災推進員養成研修の開催	●防災フェアの開催 ●防災ニュースの発行 ●防災推進員養成研修の開催			事業推進
子ども安全・安心見守り事業 （安全・安心まちづくり事業） 各下校時に子どもを犯罪から守り、地域の安全を確保するために、宮前区子ども安全・安心協議会の発足のほか、子ども安全・安心通信の発行などを行います。	●子ども安全・安心協議会の開催 ●子ども安全・安心通信の発行 ●北坂安全マップづくりへの支援	●子ども安全・安心協議会の開催 ●子ども安全・安心通信の発行 ●北坂安全マップづくりへの支援			事業推進

事業名	事業概要	計画期間の取組
安全安心まちづくり推進事業 （安全・安心まちづくり事業）	区民、市民団体、事業者、行政機関等の連携・協働により「交通安全・防災」のそれぞれの分野の活動をサポートし、暮らしやすい環境づくりに取り組めます。	事業推進 ⇒2.50%
尻手黒川沿道の冠水対策 （安全・安心まちづくり事業） ＜局外連携事業＞	尻手黒川沿道の宮前平野周辺地域における雨水排水能力を改善し、沿道冠水被害の軽減に取り組めます。	事業推進 ⇒2.50%

Ⅰ－４ 快適な地域交通環境をつくる

事業名	事業概要	計画期間の取組
交通の不便な地域の解消・地域交通環境の整備に向けた支援 （安全・安心まちづくり事業） ＜局外連携事業＞	地域住民が主体となったコミュニティ交通を促進するため、地域と行政の役割分担を明確にしつつ、安定的・持続的な運行に必要な支援などを行います。	事業推進 ⇒1.00%

基本政策Ⅱ 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり

Ⅰ－１ 超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる

事業名	事業概要	計画期間の取組
地域が主体となった高齢者の見守り促進事業 （地域福祉・健康づくり事業） ＜局外連携事業＞ 【区民会議場内】	公営住宅において、高齢者が安心して暮らしていくために、住民同士の顔の見える関係づくりを促進し、高齢者単身世帯の見守りに取り組めます。	事業推進 ⇒1.00%

Ⅰ－４ すこやかで健康に暮らす

事業名	事業概要	計画期間の取組
健康づくり支援事業 （地域福祉・健康づくり事業）	区民が健康でいきいきと生活していくため、身近な健康づくりや取り組みやすい情報を提供する情報紙や健康づくり、介護予防のための公開体操マップを発行します。	事業推進 ⇒1.00%

事業名	現状	事業内容・目標			
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降

基本政策Ⅲ 人を育て心を育むまちづくり

Ⅲ-1 子育てを地域社会全体で支える

子ども支援ネットワーク事業 (総合的な子ども支援事業) 子どもに関する関係機関・団体等とのネットワーク強化を図るため、要介護要・身体等との会議を開催するほか、事例検討会、声かけ会のための講演会を開催します。	●子ども支援に関するネットワーク会議の開催 ●若支援児童等ネットワーク事業の実施	●子ども支援に関するネットワーク会議の開催 ●若支援児童等ネットワーク事業の実施			事業推進

事業名	事業概要	計画期間の取組
子育て情報発信事業 (総合的な子ども支援事業)	子育て情報紙の発行やホームページにより、乳幼児のいる転入世帯等に対する子育て支援に関する情報を一括的に提供します。	事業推進 ⇒P.502
親の了了子育て応援セミナー事業 (総合的な子ども支援事業)	親の了了子育て力を養成し、仲間づくりや子育てグループの人材育成を図るため、子育てに関する知識と技術を身につけ保育士の人材を活用し、セミナーを開催します。	事業推進 ⇒P.502
子ども包括支援事業 (総合的な子ども支援事業)	野川・有馬地区の子ども子育て拠点「こどもサポート有馬川」で、いじめや不登校の子どもの居場所づくり、子育てサロンや子育て相談、フリースペースの提供などを行います。	事業推進 ⇒P.502
地域の子ども子育て支援拠点の整備事業 (総合的な子ども支援事業)	安心して子ども子育てに関するサービスを受けられるようにするため、区役所、出張所のレイアウト変更に合わせて、子ども子育てにやさしいきき環境を整備します。	事業推進 ⇒P.504

基本政策Ⅳ 環境を守り自然と調和したまちづくり

Ⅳ-1 環境に配慮し循環型のしくみをつくる

ecoエコプロジェクト推進事業 (環境まちづくり事業) 環境問題に対する区民の関心を高めるとともに、身近な二酸化炭素削減の取組を区民に紹介するなどの、啓発事業を進めます。	●エコに取り組む現場の見学 ●リサイクルについての講座の開催 ●緑のカーテン及び省役所庁舎の屋上緑化の実施	●エコに取り組む現場の見学 ●リサイクルについての講座の開催 ●緑のカーテン及び省役所庁舎の屋上緑化の実施			事業推進

Ⅳ-3 緑豊かな環境をつくりだす

公園の魅力アップ事業 (環境まちづくり事業) 【区民会議課題】 公園内で行われているさまざまなイベントや活動などを地域に情報発信することで公園の利用を促進し、公園を中心とした地域コミュニティの活性化を図ります。	●公園の利用促進に向けた掲示板等の設置	●公園の利用促進に向けた掲示板等の設置			事業推進
花と緑のあふれる住みよいまちづくり事業 (環境まちづくり事業) 区内の緑化を推進するため、地域緑化推進地区や緑化活動団体に花壇などを提供するとともに、緑化推進団体等のネットワークを構築するための勉強会を開催します。	●花壇緑化推進地区や緑化団体への花壇の貸し、 ●緑化推進団体間のネットワーク構築に向けた勉強会の開催	●花壇緑化推進地区や緑化団体への花壇の貸し、 ●緑化推進団体間のネットワーク構築に向けた勉強会の開催			事業推進

宮 前 区

事業名	現状	事業内容・目標			
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降

基本政策Ⅵ 個性と魅力が輝くまちづくり

V-1 川崎の魅力を育て発信する

みやびスロビーコンサート開催事業（地域資源活用事業） 新しくなる区役所の美観と音楽のまち・かわさきの発信をめざし、区役所ロビーでコンサートを開催します。	●毎月1回コンサートの開催	●毎月1回コンサートの開催	●区制30周年記念コンサートの企画・運営		事業推進
みやびスロビーコンサート特色事業（地域資源活用事業） 毎年1月に、区内を中心に音楽活動をしている個人や団体の自主的な参加によるコンサートを開催します。	●毎年1月に開催	●毎年1月に開催	●区役所＆宮前区誕生30周年記念コンサートを開催	●毎年1月に開催	事業推進
絆け！みやび太鼓ミーティング開催事業（地域資源活用事業） 地域の文化・伝統を再認識し、個性豊かで魅力ある文化の創造をめざして、区内に数多く残る民族芸能や和太鼓を集めたイベントを開催します。	●太鼓ミーティングの開催 ●太鼓を強めた文化・伝統の継承・保存	●太鼓ミーティングの開催 ●太鼓を強めた文化・伝統の継承・保存	●区制30周年記念太鼓ミーティングの開催	●太鼓ミーティングの開催	事業推進
しあわせを呼ぶコンサート開催事業（地域資源活用事業） 音楽を通じ、障害者と健常者の相互理解と交流を深めながら、互いの心のバリアフリーをめざすとともに、障害者の社会参加と自立を促すためのコンサートを開催します。	●コンサートの開催	●コンサートの開催	●しあわせを呼ぶコンサート～区制30周年記念コンサートの開催	●コンサートの開催	事業推進
みやび映像コンクール支援事業（地域資源活用事業） 「宮前区」を題材とした映像コンクールを開催し、日本映画大学の協力を得て、ロケ地のシネリサーチ（映像制作を題材として学習意欲を高める、■かみ人間育成をめざす教育）に取り組みます。	●映像のまち・かわさき支援事業 ●コンクールの継続開催 ●映画づくり講習会の開催 ●大人への映像編集体験の実施	●映像のまち・かわさき支援事業 ●コンクールの継続開催 ●映画づくり講習会の開催 ●大人への映像編集体験の実施			事業推進

V-2 文化・芸術を振興し地域間交流を進める

友好都市交流事業（地域資源活用事業） 宮前区観光協会と連携し、友好都市長野県佐久市との姉妹・県民交流や市民間交流などの交流事業を行う。	●協会・観光交流事業の実施 ●民間交流事業の実施	●協会・観光交流事業の実施 ●民間交流事業の実施			事業推進
--	-----------------------------	-----------------------------	--	--	------

事業名	現状	事業内容・目標			
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降

基本政策Ⅶ 参加と協働による市民自治のまちづくり

Ⅶ-2 市民と協働して地域課題を解決する

みやまふれあいフェスタ開催事業 （地域コミュニティ活性化推進事業） 地域や世代間の交流を図り、地域コミュニティの創造や育成のきっかけとするために、ふれあいを重視した体験型企画とご店を中心とした催しを併催します。	●みやまふれあいフェスタの開催	●みやまふれあいフェスタの開催			事業推進
シニアライフ支援事業 （地域コミュニティ活性化推進事業） シニア世代がこれまでの人生で身につけてきた知識・経験や能力を身近な地域で活かす機会を提供することで、暮らしやすい地域づくりとシニア世代の居場所づくりとを両立を図ります。	●シニアライフ相談窓口の開設 ●シニア世代向け青森会の開催	●シニアライフ相談窓口の開設 ●シニア世代向け青森会の開催			事業推進
まちづくり推進事業 （地域コミュニティ活性化推進事業） 魅力あるまちづくりを推進するため、中間支援組織を支援しているまちづくり協議会と協働し、地域の市民活動団体への支援等に取り組みます。	●地域の市民活動団体への支援等	●地域の市民活動団体への支援等			事業推進
まちづくり支援事業 （地域コミュニティ活性化推進事業） 中間支援組織を支援するまちづくり協議会の効率的かつ効果的な運営と区民のまちづくり活動に対する支援を行います。	●まちづくり協議会の効率的かつ効果的な運営	●まちづくり協議会の効率的かつ効果的な運営			事業推進
みやまスポーツふれあい広場開催事業 （地域コミュニティ活性化推進事業） スポーツを通じて区民同士の交流と健康増進を図るために、各種スポーツ事業を実施するとともに、地域スポーツの活性化を図ります。	●各種スポーツ事業の実施 ●地域スポーツの活性化に向けた取組	●各種スポーツ事業の実施 ●地域スポーツの活性化に向けた取組		●区制40周年記念大会の開催	事業推進
宮前ガイドマップ作成事業 （地域コミュニティ活性化推進事業） 転入者などが地域を知り、定着を持てるため、宮前区と区内主要施設を紹介するガイドマップを発行します。	●宮前区と区内主要施設を紹介するガイドマップの発行	●宮前区と区内主要施設を紹介するガイドマップの発行			事業推進
宮前ガイドブック改定事業 （地域コミュニティ活性化推進事業） 宮前区の魅力を深く知り、宮前区のイメージアップを図るため、「宮前区ガイドブック」の改定を行います。	●宮前区ガイドブックの全面改定の検討	●宮前区ガイドブックの全面改定版作成	●宮前区ガイドブックの全面改定版発行		

宮 前 区

事業名	現状	事業内容・目標			
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度以降
多様な世代の社会参加推進事業 (地域コミュニティ活性化推進事業) 遊びを通じて世代間の交流と多様な市民の交流を図るために、「夏休み子ども遊びランド」を実施します。	●夏休み子ども遊びランドの実施	●夏休み子ども遊びランドの実施			事業推進
市民に数支援拠点のネットワーク事業 (地域コミュニティ活性化推進事業) 市民活動の活性化を図るため、市民活動支援拠点のネットワーク化に必要な物品を準備します。また、市民活動支援拠点の利用促進のためのマップ等を発行します。	●市民活動拠点の有効利用促進のための情報収集及び発信 ●区内の市民利用施設を紹介した「宮前区市民活動応援マップ」の発行 ●区内の各支援コーナーに利用登録している団体を紹介した冊子の発行	●市民活動拠点の有効利用促進のための情報収集及び発信 ●区内の市民利用施設を紹介した「宮前区市民活動応援マップ」の発行 ●区内の各支援コーナーに利用登録している団体を紹介した冊子の発行			事業推進
窓口サービス等向上推進事業 (区役所サービス向上事業) 使いやすく快適な区役所をめざし、区民課の待合スペースの環境整備を行います。	●窓口サービスアクションプランの策定 ●アクションプランの推進	●窓口サービスアクションプランの策定 ●アクションプランの推進			事業推進
バリアフリー化推進事業 (区役所サービス向上事業) 来庁者が安心して区役所を利用できるように、庁舎のバリアフリー化を実施します。	●区役所庁舎のバリアフリー化の推進	●区役所庁舎のバリアフリー化の推進			事業推進
宮前区区民会議運営事業 地域社会の課題を区民の参加と協力により解決するため、その機会確保の場として、区民会議を開催します。	●第9期区民会議の運営 ●解決策の取組推進 ●フォーラムの開催	●第9期区民会議の運営 ●解決策の取組推進 ●フォーラムの開催	●第10期区民会議の運営 ●委員の改選		事業推進

事業名	事業概要	計画期間の取組
地域活動の促進に向けた人材育成及び担い手体制の整備事業 (地域コミュニティ活性化推進事業)	地域ごとの自主的なまちづくり活動を促進するため、多様な世代や市民層への働きかけによって地域活動の裾野を広げ、地域への意欲を醸成します。	事業推進 ⇒2,504
みやまスカルタ制作事業 (地域コミュニティ活性化推進事業) 【区民会議取組】	2012年の区制30周年をめざし、地域全体による地域資源等を題材にした中学校区ごとのカルタづくりを進め、集大成として区全体のみやまスカルタを制作します。	事業推進 ⇒2,504
宮あそび場活動支援事業 (地域コミュニティ活性化推進事業) ＜居区連携事業＞ 【区民会議取組】	公園などを活用し、地域住民が主体となって行う「宮あそび場」活動を支援することにより、地域コミュニティの活性化と次世代育成の場づくりを進めます。	事業推進 ⇒2,505
宮前区魅力あるスポーツ推進事業 (地域コミュニティ活性化推進事業)	スポーツを通じて区民全体のまちづくり意識向上のために、各種スポーツ事業を実施するとともに、地域資源を活用した地域スポーツの活性化を図ります。	事業推進 ⇒2,505

政策の執行を支えるその他の事務事業

地域の課題解決を図る事業提案制度 (地域課題対応その他事業) 区民が提案した課題や区民会議から提案された課題の解決等に取り組む団体等を広く募集し、地域の課題を地域自ら解決するための支援などを行います。	●区民会議提案事業及び協議型事業のルールに則した提案への支援や募集の実施	●区民会議提案事業及び協議型事業のルールに則した提案への支援や募集の実施		事業推進
--	--------------------------------------	--------------------------------------	--	------

第3期実行計画(2011～2013年度)素案[2010年10月発行]から抜粋

～参加と協働の取組～

■ 区民会議

＜これまでの審議状況＞

- 第1期区民会議（2006～2007年度）では、「高齢者福祉」、「子育て支援」、「地域防災」といった個別課題と「地域コミュニティ」という横断的な課題を審議し、23項目の解決策を提案しました。
- 第2期（2008～2009年度）では、地域課題の解決には地域コミュニティの活性化が重要とし、「明日のコミュニティづくり」を大きなテーマとして掲げました。さまざまな活動をつなぐ場として「公園」と地域おこしの核として「宮前区の宝探し」を審議し、5つの解決策を提案しました。
- 第3期（2010～2011年度）では、「宮前区らしさ・地域特性」をコミュニティづくりに活かすこととし、区民が自分たちのまちを楽しめるような仕掛けづくりを行い、農業や商業など区内産業の活性化につなげていくために、幅広い意味での「地産地消」を推進していくことと、山坂の多さや高齢化の進展といった地域の特徴をポジティブにとらえるよう発想を転換し、「活力づくり・健康づくり」に活かしていくことについて審議しています。

＜区民会議の審議を踏まえた主な取組＞

●第1期の提案による取組

積極的な子育て情報の発信や子育てをサポートするための出前講座、介護予防・健康増進のための地域住民による公園体操の普及、地域のお祭り・イベントの月間カレンダー「歳時記みやまえ」の作成など、暮らしやすい地域づくりに向けた取組をしています。

●第2期の提案による取組

- ・誰もが気軽に利用できるオープンスペースである公園を活用し、地域住民が主体となって行う「冒険あそび場」活動を支援することで、多様な世代の参加による地域コミュニティの活性化と子どもが思いきり遊べる次世代育成の場づくりを進めます。
- ・幅広い世代の区民が参加して、地域の名所や歴史、文化などの資源を探して地区別カルタを作成します。さらに区制30周年記念として宮前区版カルタを作成し、記念カルタ入会を開催し、地域で活用することで、地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの活性化につなげます。

■ 市民提案による協働の取組

●宮前区地域課題の解決を図る事業提案制度

- ・この制度は、本市の協働型事業のルールに基づく、地域の抱える課題を区民が自ら発見して解決していくことのできるしくみです。地域で抱える課題とその解決方法について、区民から広く提案を募集し、区の情報や資金などの支援を通じて、選定した提案を実際に市民活動団体などが主体となって実施する制度です。
- ・この制度では、次に掲げる提案について、時期を限定せずいつでも提案することが可能となっており、また、団体だけでなく個人の方も提案をすることができます。
 - （１）区民が発見した地域の課題及びその解決を図る提案
 - （２）宮前区区民会議からの提案
- ・提案は、書類審査やヒアリング等を経て選定され、選定された場合は事業化に向け団体と区役所とで提案内容をより具体化するための協議・調整を行っていきます。

＜これまでの事業例＞

●緑の回廊マップづくりとネットワーク化（2007～2008年度）

宮前区内で、緑の保全や緑化の推進、公園緑地の維持管理などに取り組んでいる団体のネットワーク化に向け、8つの中学校区ごとに緑のマップづくりを実施し、その成果の発表と市民同士の交流のために「輝け命 宮前グリーンフォーラム21」を開催しました。

●犯罪の抑止・景観保持に向けた落書き消し（2007、2009年度）

落書きのない安全で安心なまちづくりの推進に向けて、菅生中学校区や有馬4丁目では落書き消し作業を実施するとともに、菅生小学校バザーや宮前区民祭などの場を活用し、啓発活動を行いました。

●みやまえ映像コンクール（2007～2008年度）

中学生が地域を知り、親しむ機会を確保するとともに、「映像のまち かわさき」を推進するために、「みやまえ映像コンクール」を実施しました。



落書き消し作業の様子



みやまえ映像コンクール表彰式

宮前区

魅力あるスポーツ推進事業
(宮前スポーツセンターを拠点とした室内スポーツの振興)

生田緑地整備事業
(緑山緑地敷設路、広場整備実施)

聖マリアンナ医科大学病院における
総合周産期母子医療センターの運営支援

総合的な子ども・子育て支援の推進 (向丘遊戯所)

総合的な子ども・子育て支援の推進 (宮前区役所)
区役所庁舎の屋上緑化の実施(宮前区役所)

尻手黒川道路の冠水対策
(矢上川河川改修に向けた取組の推進)

認可保育所の関係
(宮前子育て支援センター(2011年度))

若生緑地整備事業
(西地区公園・広場整備実施)

あんしん歩行エリア
整備事業(小倉地区)

市バス営業所の管理委託の推進
(仮称若生営業所の営業委託の開始(2011年度))

街路整備事業
(向ヶ丘遊戯駅前若生緑地公園完成(2011年度))

鷺沼駅周辺まちづくり調査事業

緑化推進重点地区整備事業
(宮前草・鷺沼駅前周辺地区)

バリアフリー重点整備地区
交通安全施設整備事業
(宮前草・鷺沼駅前周辺地区)



魅力あるスポーツ推進事業
(フロンタウンせきめなどの活用)

交通の不便な地域の解消・
地域交通環境の整備に
向けた支援(野川新台地区)

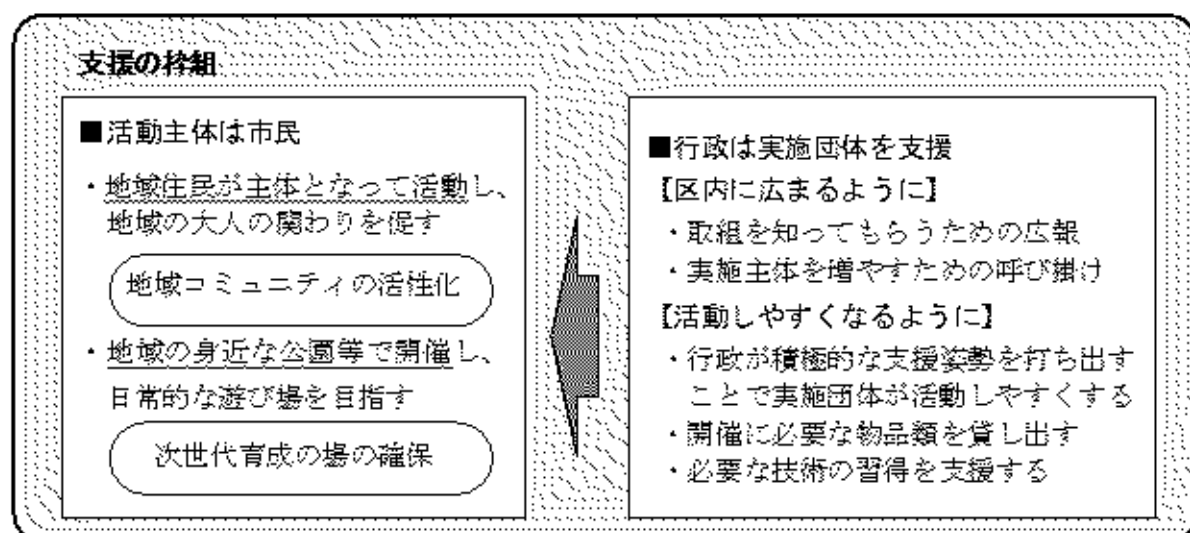
総合的な子ども・子育て支援の推進
(こどもサポート南野用)

宮前区冒険あそび場支援事業の報告

第2期区民会議からの提案：「冒険あそび場」をひろめよう！

■宮前区冒険あそび場支援検討委員会の立ち上げ

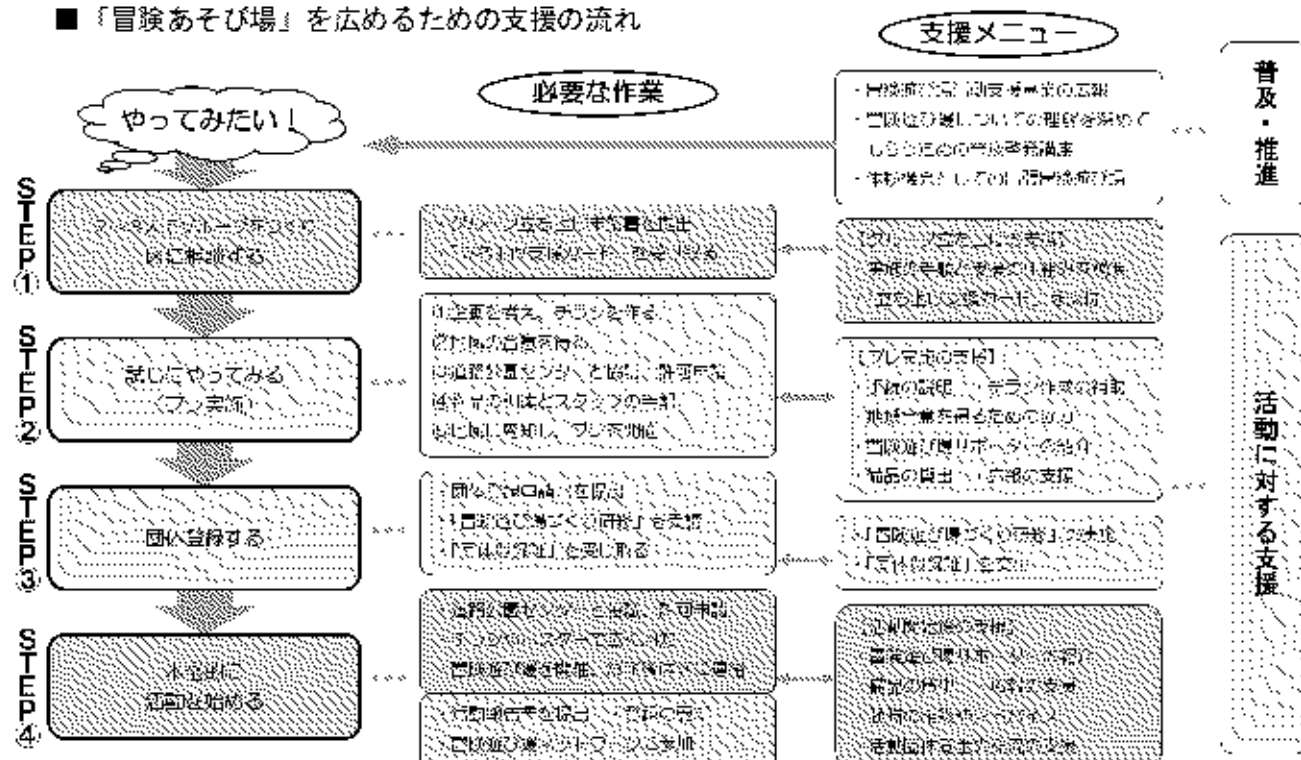
「冒険あそび場」を区内に広めるための支援の枠組や支援メニューを検討



■モデル事業「土橋1丁目公園冒険遊び場」の実施

実行委員会によるモデル事業の実施・検証を通じて具体的な支援メニューを検討

■「冒険あそび場」を広めるための支援の流れ



■今後の取組

3月中旬に報告書をまとめて区長に提出し、新年度から実際の取組を開始

宮前区冒険遊び場モデル事業結果報告

「土橋1丁目公園 冒険遊び場」

平成22年11月23日(祝) 午前10時～午後3時 小雨→晴れ

来場者数：こども 延べ150人(最大80人)

おとな 延べ50人(最大30人)

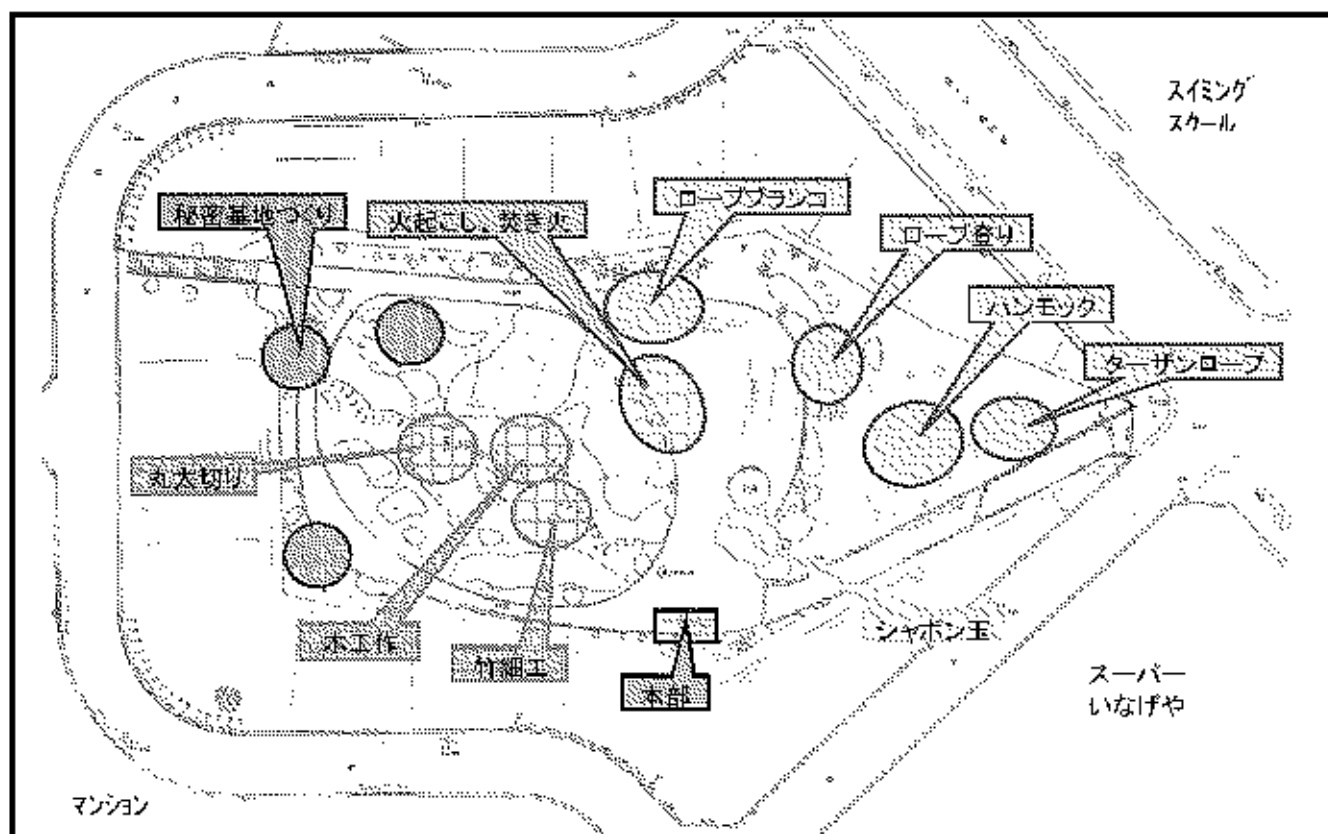
支援検討委員会の委員を中心にモデル事業実行委員会を立ち上げ、委員が自ら企画・準備・運営を行った。

来場者への聞き取り調査では「協力してもよい」という回答もあり、来年度以降につながるモデル事業となった。

土橋1丁目公園 冒険遊び場の掟

- ・自分の責任で自由に遊ぶ
- ・ケガと弁当は自分持ち
- ・最後はキッチンと元にもどす

■公園内における遊びの実施ポイント





みやまえカルタ制作スキーム



●第2期区民会議からの提案

幅広い世代の参加によるカルタづくりを通じて、地域への愛着を涵養し、地域コミュニティの活性化をめざす。

●事業化

区制30周年にあたる平成24年度の完成をめざし、協働推進事業として事業化。

●みやまえカルタ制作実行委員会（平成22年4月19日設立）

発起人：第2期宮前区区民会議 宮前区の宝探し部長 有志
 団体推薦：宮前区全町内会・自治会連合会 宮前区地域教育会議
 宮前区観光協会 グリーンフォーラム21 全10名

地域のカルタ（中学校区ごとに制作）

●地域リーダーの役割

地域のカルタ制作の協力者を募り、中学校区ごとに部会を設立
 ・公募
 ・地域で活動している方に直接依頼
 ・協力団体から推薦 など

・地域の団体の協力を得て、団体のイベントなどを通じて絵札・読み札を募集
 ・絵札・読み札を地域で募集（子ども文化センター、いきいの家など）

現在の取り組み

地域リーダーから協力を依頼する団体等

小学校
 町内会 自治会
 老人・シニア団体
 子ども会
 市民活動団体（まち歩き・イベントなど）
 子ども文化センター
 いきいの家 など



フィードバック

区全域での募集（～平成22年秋）

区全域を対象として募集する方法

市政だより
 区ホームページ
 チラシ
 団体のイベント
 区民祭
 市民館の各種教室 など

・集まった絵札・読み札を地域ごとに整理・学術的な見解を整理

・募集要領（期間、テーマ、応募様式等）を整理し、公募
 ・まちづくり協議会、市民館等への依頼

平成23年度

中学校区ごとのカルタを完成させ、区民祭でお披露出し、幅広い世代が参加できるイベントを開催するとともに、随時、地域で活用していく。

【イベント実施案】
 ・カルタ大会（区民祭や地域ごとに）
 ・地域のカルタを巡るまち歩き など

選考

平成24年春

区制30周年記念 カルタ大会の開催

・区民祭などで「区制30周年記念みやまえカルタ大会」を開催
 ・お気に入りのスロット選び投票

フォーラムの開催

・みやまえカルタのお披露目
 ・カルタ制作の目的過程等の紹介
 ・みやまえカルタに採用された地域の宝（地名、歴史、文化、史跡等）の解説
 ・優秀作品等の表彰

地域でカルタの活用

幅広い世代が地域を知り親しめるように、小学校、子ども会、老人会等の各種団体、地域でみやまえカルタを活用（カルタ大会等）
 ・地域でのカルタ大会
 ・カルタに詠まれているスロットを巡るまち歩きを開催
 ・人気投票やお気に入りのスロット選び

選考委員会

（委員構成案）
 ・宮前区全町内会・自治会連合会
 ・宮前区観光協会
 ・宮前区文化協会
 ・宮前区地域教育会議
 ・みやまえカルタ制作実行委員会
 ・区長 など